

神緑会ニュースレター

第8巻 第4号

発行日 2017年3月10日



明治2年に開院した神戸病院



昭和5年 病院本館
昭和41年 第一病棟 (左11階建て)



昭和33年12月 医学部本館



神戸市立
湊翔楠中学校

楠地区航空写真 2014.6.25撮影
神戸大学医学部附属地域医療活性化センター (左下)

目次	ページ
平成28年度一般社団法人神緑会総会開催報告	3
物故者紹介	4
報告事項 委員会報告	5
審議事項	5
荣誉者・新任教授紹介	5
兵庫県医師会の女性医師支援活動	渡辺 弥生 8
新春学術講演会	
講演Ⅰ	的崎 尚 10
司会	木戸 良明
講演Ⅱ	藤澤 正人 10
司会	中野 康治
情報交換会	11
蘇った「南寮寮歌」「健児賦」	西尾 真理 13
京都 iPS 細胞研究所 (CiRA) 便り	
iPS 細胞の可能性-10年の節目に	徳永 愛子 15
神戸大学附属病院リハビリテーション科教室のご紹介	18
酒井 良忠	
姫路工大、医科進学課程の回想	梶田 明義 20
今となっては神戸大学医学部への医学進学過程に	
第1期生として入学した当時の思い出	岡田 正義 21

目次	ページ
予科時代の思い出	瀬藤 晃一 23
大学在籍時代の思い出	吉田 栄之 23
メモリアル	
内科学前教授 横山教授を偲ぶ会	平田 健一 25
池尻先生告別式	吉田 栄之 26
寄付のページ	
記念事業と大倉山祭	27
平成卒業生の同窓会開催状況と開催少ない学年同窓会開催の御願い	28
医学科写真部活動報告	*塚本 修一 29
初期体験臨床実習のアンケート結果	*高木 望夢 30
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所について	永田 充生 32
耳寄り情報	百合岡事務所 33
大学院、医学部医学科入学者選抜における大きな変更	36
編集後記	36

*学生

もう半世紀すこやかに

SunCity

“老後はこうありたい”と願う生活があります。



完成予想イメージ
(掲載の完成予想図は図面を基に描き起こしたもので、実際とは多少異なります。)

土地建物の権利形態/事業主体非所有



エントランスロビー(イメージ)



フォーマルダイニング【ウォータービュー】(イメージ)



ティーラウンジ(イメージ)

モデルルーム見学随時受付中

要予約

【モデルルーム】受付時間/午前9:00~午後5:00
(土日祝日も受付可)

☎ 0120-33-1655

アクティブな暮らしが楽しめる HAT神戸

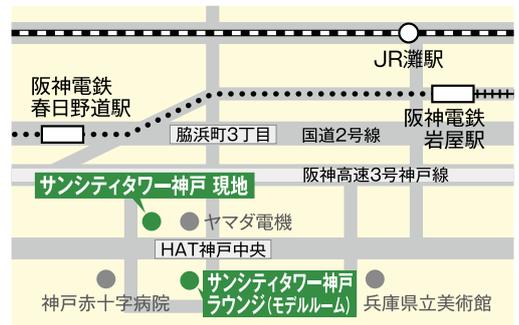
介護付有料老人ホーム

入居時自立

サンシティタワー神戸

神戸市中央区脇浜海岸通1-4-1 サンシティタワー神戸ラウンジ

本年6月、いよいよ入居開始(予定)



【サンシティタワー神戸概要】●所在地/神戸市中央区脇浜海岸通2丁目3番5号 ●敷地面積/12,431㎡ ●建築面積/5,861㎡ ●延床面積/57,967㎡ ●構造規模/RC造(一部S造)、地上35階 ●居室数/483室(37.30㎡~112.76㎡)介護室/91室91名、一時介護室/4室4名(20.8㎡~25.61㎡) ●土地・建物の権利形態/事業主体非所有 ●事業主体・運営管理/㈱ハーフ・センチュリー・モア ●返還金制度/あり【協力医療機関】■住友病院(大阪市北区中之島5-3-20、施設から約33km) ●主な診療科目/一般内科、リハビリテーション科、心臓血管外科、神経内科、放射線科ほか ●協力内容/人間ドックに利用できます■兵庫医科大学病院(兵庫県西宮市武庫川町1-1、施設から約18.5km) ●主な診療科目/総合内科、外科、眼科、整形外科、脳神経外科ほか ●協力内容/高度医療を必要とする場合の入院、外来、緊急時の対応、人間ドックに利用できます【同一建物内クリニック】■岩永メディカルクリニック(開設予定、別法人) ●主な診療科目/内科【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示事項】●類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護申請中) ●居住の権利形態/利用権方式 ●利用料の支払い方式/全額前払い方式 ●入居時の要件/入居時自立、原則満65歳以上の方 ●介護保険/神戸市(兵庫県)指定介護保険特定施設、神戸市(兵庫県)指定介護予防施設 ●介護居室区分/全室個室 ●介護にかかわる職員体制/1.5:1以上[平成29年6月予定] ※上記の内容は予定であり、変更が生じる場合がございますのでご了承ください。

(株)ハーフ・センチュリー・モアは大手企業約100社が出資する資本金120億円で、借入金のない会社です。

もう半世紀すこやかに

株式会社 ハーフ・センチュリー・モア

〒107-6030 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 30階

☎0120-77-5088 TEL. 03-3505-6688 FAX. 03-3505-6198

www.hcm-suncity.jp

【主な出資企業】三井住友銀行・みずほ銀行・三菱東京UFJ銀行・西日本旅客鉄道・三洋電機(パナソニック)・塩野義製薬・ダイキン工業・ヤンマー・江崎グリコ ほか

特集

平成28年度一般社団法人神緑会総会開催報告

一月の開催で寒波の襲来と重なり、心配しながらの開催でした。幸いにも、寒い日でしたが、晴れから曇りで何とか無事開催されました。

◆ 会長あいさつ



前田会長



司会 味木大学支部長



宮本常務理事

寒い中のご出席に感謝致します。また、開催に当たり、チケットの購入及び委任状の取り纏めに支部及び学内の教室、関連病院長等にご協力いただき、無事総会が開催できます事を感謝致します。

現在の神緑会の主な事業について、時間の関係で簡単にですが、ご説明致します。第一に75・150周年記念事業です。ほぼ1年となりました。寄付総額が6,250万円で神緑会員分が130名から1,250万円の金額となっております。本日の総会で神戸大学が如何に頑張っているかを医学部長と病院長にご紹介いただき、寄付増加の弾みとなることを期待しています。免税の具体的内容について、ニューズレター第8巻第3号で紹介しましたが、神戸市民の場合は、所得税プラス市民税も対象となり、課税対象額によっては、3割以上の免税となります。第二に運営面での改善についてですが、学生を準会員から正式に「学生会員」とし、在学中から神緑会活動に参加してもらうことにしました。本日は、11名の学生が受付の手伝いや写真撮影に従事しています。写真撮影については、今回が初めての動員であり、写真部の力量に大いに期待しています。3月の謝恩会から医師賠償責任保険の紹介を行う予定で打ち合わせ中です。

第三に財政面についてですが、詳細は、報告事項の項で中野副会長から報告しますが、広報誌の発行・配布について大きく見直すこととしました。平成卒業生には、従来通り全員に送附しますが、昭和卒者には順次、会費納入かネット配信での受け取りかの選択をしてもらう予定です。

第四にホームページの充実です。神戸大学の関連病院を病院長の了解の元にリンクしましたが、更に神緑会員の運営する診療所や病院の紹介を進めています。昭和50年卒から順次、アンケートしながら行います。今後も、ニューズレターやホームページを通じて広報に努めますが、ご理解を賜りますようにお願いいたします。

全く新しい事項では、名誉会員の承認3名をご審議いただきます。特別講演まで、長時間になりますが、ご協力をお願いいたします。

「議決権のある当法人の社員の総数及び議決権の数は2,806名(個)、出席社員数(委任状による者を含む)及び議決権数は1,692名(個)で総会は成立しました。



中野副会長



田中副会長



受付

物故者紹介

議事録記名人2名を選任した後、会長の発声で「物故者の功績を称え、在りし日を偲び黙祷」を行いました。

平成28年物故会員

卒年	氏名	ご逝去日
名誉教授	埴 功	平成28年7月20日
名誉教授	三嶋 豊	8月3日
S24	井上 肇	12月31日
	伊集院健一	7月25日
	合志 慶一	不明
S25	橘 康一	2月13日
	上田 慶喜	8月28日
S26	佐野 丞	3月24日
	西口 睦	1月8日
	伏木 讚二	12月18日
	森 桂次郎	11月25日
S27	内田 敬止	3月27日
	岩本 信一	7月4日
	山本 明	10月25日
S28	尾上 高知	3月3日
S29	松村 實	平成27年10月14日
	大野 健	平成28年1月11日
	橋本 章男	4月21日
	川瀬 晃	不明
	小林 稔	12月10日
S31	西川 和典	8月5日
	逢萊 裕	2月3日
S32	船阪 和彦	7月8日
	山本 尚甫	6月26日
S33	鍔尾 泰三	1月25日
	中島 英明	2月4日
	古賀 昭夫	6月30日
	桂 義忠	9月18日

卒年	氏名	ご逝去日
S33	庄山 孝	平成28年12月10日
S34	藤田 稠清	12月31日
S35	日吉 保寿	9月13日
S36	藤野 信也	平成27年10月1日
	富井 秀明	平成28年1月22日
	竹田 圭次	3月25日
S37	日吉 幸雄	平成26年7月
	大森 明夫	平成28年2月4日
	金子 滋夫	8月17日
S38	黒郷 文雄	平成27年10月10日
	窪田 彬	平成28年5月23日
	中村 順子	6月11日
S40	松本 克彦	4月
	別府 眞琴	9月13日
S41	三苦 守行	11月1日
S44	横山 光宏	11月10日
S46	是成 知行	6月19日
S50	村尾 眞一	4月23日
S57	古家 良	5月31日
S63	日野 良一	平成22年1月9日
H3	山田 恵子	平成27年2月
	岡本 久美	平成28年5月26日
H4	出田 和久	8月23日
京都大学 S25	岡田弘三郎	5月15日
熊本医科大学 S18	河崎与一郎	6月30日

総勢 53名

物故者名簿での誤りのお詫び

昭和28年卒 青木 崇先生は、京都大学ご卒業（大正14年生まれ）で中央区医師会の先生でした。神戸市医師会から訃報が流され、全く同姓同名同字の先生との間違いでした。通常の紹介を受けてリストに掲載しました。総会の場で同級生からの申告により間違いが判明しました。これほど重要な内容に関し、間違いが生じたことを深くお詫び致します。今回のトラブルを受けて、連絡システムの見直しや確認に最善を期すこととしますのでご容赦御願致します。ただ、反省すべき点は、訃報記載事項の慎重な対応で防げた可能性であります。卒業大学は記載されておりませんが、この確認ができれば一番確実ですので、クラス代表のご協力など直しく御願致します。

報告事項 委員会報告

- (1) 学術委員会助成事業募集報告 (2) 学術誌編集・広報委員会報告
各担当より報告した。

審議事項

- 1) 神緑会事業 } ホームページに掲載します。
2) 予算 }

3) **名誉会員の推薦** 特別会員には、他大学卒の教授、准教授を御願している。一方、退職後の名誉会員には、教授のみが残ります。准教授が他大学で教授就任の場合、神戸大学での就任期間などを参考に名誉会員に推薦します。杉本島根大学内科学教授、鳥取大学泌尿器科教授は、神戸大学での在任期間も長く名誉会員にふさわしいとして推薦します。

次に、兵庫県内、更に日本全体での神緑会員や医師全体への貢献に対し、神緑会名誉会員を御願します。逸見先生は、赤穂市民病院長としての貢献のみならず、全国自治体病院協議会会長（4期8年）として、診療報酬制度に鋭く切り込んで医療の衰退を食い止め、更に最近問題の専門医機構の理事として医療全般のバランスの中で発展を模索している。そこで、今後も神戸大学の発展にご努力いただけると期待し、名誉会員に推薦します。

以上、総ての提案に賛成が得られました。

栄誉者・新任教授紹介

栄誉者並びに新任教授一覧

【叙勲等】

ベルツ賞	本 田 賢 也 (H6)
瑞宝小綬章	川 村 隆 (S50)
藍綬褒章	中 尾 正 俊 (S54)
厚生労働大臣表彰	渡 辺 弥 生 (S43)
厚生労働大臣表彰	戸 田 常 紀 (S46)
厚生労働大臣表彰	齋 田 幸 次 (S48)

【病院長・医師会長等】

長野県厚生農業協同組合連合会 代表理事 理事長	社 浦 康 三 (S53)
甲南加古川病院 病院長（再任）	*佐 藤 美 晴 (S46)
大阪府済生会中津医療福祉センター総長（院長兼任）	川 嶋 成乃亮 (S52)
西神戸医療センター 院長	田 中 修 (S53)
高砂市民病院 院長	*永 田 正 男 (S57)
加西市立加西病院 病院長	北 嶋 直 人 (S58)
三田市民病院 病院長・事業管理者	荒 川 創 一 (名)
神戸赤十字病院 院長	田 原 真 也 (名)
大阪府医師会 副会長	加 納 康 至 (S55)
此花区医師会 会長	板 東 博 志 (S56)

【神戸大学医学研究科及び医学部附属病院教授就任】

神戸大学大学院保健学研究科 研究科長	木戸良明 (S61)
神戸大学大学院医学研究科 医学教育学分野 特命教授	河野誠司 (S61)
神戸大学大学院医学研究科 外科系講座整形外科 教授	黒田良祐 (H2)
神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 低侵襲外科学分野 特命教授	木戸正浩 (H6)
神戸大学医学部附属病院 心臓血管外科 低侵襲外科 特命教授	田中裕史 (H8)
神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学健康科学講座 地域医療ネットワーク学分野 特命教授	出口雅士 (H10)
神戸大学大学院医学研究科 生化学・分子生物学講座	
神戸大学大学院医学研究科 分子細胞生物学分野 教授	鈴木 聡 (特)
神戸大学大学院医学研究科 生理学・細胞生物学講座	
神戸大学大学院医学研究科 システム生理学分野 教授	和氣弘明 (特)
神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 地域医療ネットワーク学分野 特命教授	柿木章伸 (特)

【神戸大学外教授就任等】

茨城県立医療大学 学長	永田博司 (S53)
京都橘大学 健康科学部 救急救命学科 教授	久保山一敏 (S55)
名古屋学芸大学 管理栄養部 教授	井澤一郎 (S60)
東北医科薬科大学医学部 皮膚科学教室 教授	岡昌宏 (S61)
大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授	大西次郎 (S62)
神戸大学大学院 医学研究科内科系講座先端緩和医療学分野 特命教授	*木澤義之 (H3)

(特) 特別会員 (名) 名誉会員 *は過年度就任

受賞者コメント 代表的内容を掲載しました。学術誌に詳細は掲載します。



中尾 正俊 (大阪府医師会副会長)
「藍綬褒章」を授章し、身の引き締まる思いです。今後も褒章に恥じないよう精進したいと思っております。



永田 正男 (高砂市民病院 院長)
東播地区の特色ある病院として、今後も地域医療の発展に努めたい。高砂市民病院は胸部の内視鏡手術では全国5位の実績があります。



戸田 常紀
(大阪府済生会中津医療福祉センター看護学校長)
表彰については私も驚きです。国民皆保険制度についての支払基金の審査員として、次世代へバトンタッチしていきたい…



北嶋 直人 (加西病院 病院長)
昨年、4月病院長に就任しました。30年近く地域医療に携わってきました。神緑会助成研究でE型肝炎について報告しました。今後も役割を果たせるように努力する所存です。



川嶋 成乃亮
(大阪府済生会中津医療福祉センター総長(兼院長))
中津医療福祉センターは昨年開院100周年を迎えました。今後も医療・福祉・介護を進めていきたいと思っています。



荒川 創一
(三田市民病院 病院長・事業管理者)
神戸大学(医学部)で薫陶を受けて30年以上頑張ってきました。阪神北医療圏地域でますます

充実を期して神戸大学関連病院として努力していきたい。



加納 康至(大阪府医師会 副会長)
昨年、大阪医師会副会長、社会保険報酬支払基金の審議員として医師会の仕事に携わっておりますが、周りに神緑会の先生方も多くおられます。今後も共に医療の発展に努めていきたい…



板東 博志(此花区医師会 会長)
USJのある地区で地域医療の柱として在宅・高齢者医療を支える者として努力してまいります。



木戸 良明
(神戸大学大学院保健学研究科 研究科長)
昨年、学科長を拝命しました、保健学科発展に寄与してきた11名の神緑会会員と共に更に発展するよう努力する所存です。



河野 誠司
(神戸大学大学院 特命教授)
卒業前、卒業後での医学の教育の人材育成に努力していきたい。特に学部教育改革は待ったなしです。



黒田 良祐
(神戸大学大学院 整形外科 教授)
昨年6月教授に就任しました。神戸大学附属小学校より15年間神戸大学で教育を受けてきました。今後も神戸大学の発展に努力していきたい…



木戸 正浩
(神戸大学大学院 低侵襲外科 特命教授)
低侵襲で肝胆膵手術を始めており、神戸大学の発展に尽力したい。



田中 裕史(神戸大学大学院 心臓血管外科 特命教授)
先輩の薫陶により現在があり感謝いたします。これからも神戸大学の発展に尽力したい…



鈴木 聡(神戸大学大学院 分子細胞生物学教授)
昨年4月就任しました、分子細胞生物学のゲノム・ガン研究に尽力していきたい…



永田 博司(茨城県立医療大学 学長)
20年間教育、研究に専念し、昨年、学長に就任しました。大学運営は厳しいものがありますが今後も努力していきたい。



久保山 一敏(京都橘大学 教授)
昨年、縁あって京都橘大学救急救命学科教授に就任しました。救命士の育成に励み、皆さんの役に立ちたいと思っています。



岡 昌宏
(東北医科薬科大学皮膚科 教授)
東北医科薬科大学は東北地方にあり、2016年4月に医学部を38年振りに新設しました。今後も医療の発展に尽力していきたい。スタッフ2名であり多く応募してほしい。

女性医師の会より

兵庫県医師会の女性医師支援活動

兵庫県医師会女性医師の会会長 渡辺 弥生



渡辺弥生 先生

このたびは神緑会前田盛会長、理事役員の先生方、千谷理事のご尽力で神緑会総会時に女性医師支援の話をする機会を作って頂きましてありがとうございます。



司会 千谷 理事

平成12年から医師国家試験合格者の占める女子学生の割合が3割を超えるようになりました。平成25年の兵庫県医師会調査によりますと、兵庫県における女性医師の割合は全体では18.3%ですが、20代

女性医師の割合は同年代医師の36.2%、30代女性医師は28.7%になっています。現在、女性医師の割合はもう少し増えていると思います。女性医師が育児のために休業されると現場の医師が足りなくなります。日本医師会ではこの状況を踏まえ、女性医師が育児中でも辞めないで働ける環境整備に取り組んでこられました。平成17年に第1回男女共同参画フォーラムが開かれ、その後も女性医師バンクなどの女性医師支援に積極的に取り組まれています。各都道府県でも女性医師支援の取り組みが積極的になされてきました。

兵庫県医師会では平成18年3月に兵庫県女性医師の会と男女共同参画推進委員会（前女性医師委員会）を立ち上げました。兵庫県女性医師の会は県内の全医師対象で、医師会非入会会員、研修医、男性医師も入会可能であり、会員は現在約400名です。県医師会長の空地先生も入会されています。男女共同参画推進委員会は県医師会内の委員会で、女性医師の会役員が委員を務めています。兵庫医科大学と神戸大学の女性教授にも委員になっていただ

き、大学との交流を密にしています。担当役員は県医師会副会長、常任理事、理事の先生方です。

現在の活動は次の通りです。

- 1 女性医師再就業支援（県委託事業）
- 2 兵庫県医師会ドクターバンク 日本医師会女性医師バンクとの連携
- 3 女性医師の会フォーラム7月開催、研修会2月開催
- 4 研修会、フォーラム開催時の託児サービス（日本医師会事業）
- 5 学生・研修医をサポートするための会 兵庫医科大学、神戸大学で毎年開催
- 6 女性医師支援相談窓口運用
- 7 研修医・勤務医のベビーシッター費用一部負担制度
- 8 郡市医師会女性医師との懇談会（平成20年開始、平成25年終了）
- 9 病院訪問実施 研修医・勤務医が多い病院訪問、年4回 現在10病院訪問終了
- 10 アンケート集配集計 平成23年度、26年度実施
- 11 ニュースレター年2回発行
- 12 ホームページの充実、保育関連情報掲載
- 13 産休・育休に入られる女性医師に再就業支援、相談窓口、ベビーシッター費用一部負担などの情報掲載冊子配布
- 14 2020.30実現を目指す地区懇談会「こうのとりの会」年1回開催
- 15 県行政との懇談
- 16 女性医師の会の啓発と会員増強

上記の活動をいくつか説明いたします。女性医師再就業支援事業は平成19年9月に県の委託事業として開始しました。結婚・出産で離・退職した女性医師で、研修後に県内の医療機関へ勤務する意思がある者が対象で、全科、年5人募集しています。臨床研修は病院で80時間受けられます。先生方の

お知り合いで再就業を希望される方がおられましたらぜひ県医師会にご紹介下さい。

女性医師支援窓口運用は平成25年4月から開始し、今までに数名の相談がありました。ベビーシッター料金一部負担制度は、時間外に使われたベビーシッター費用の25%負担する制度で、平成25年4月に開始し利用されています。

平成20年から25年の間に、郡市医師会を訪問し、女性医師と役員の先生方との懇談をしました。兵庫県には8郡29市ありますが5郡25市訪問し、3郡4市は会員が少ないためアンケートで意見と要望を伺いました。兵庫県は広く、豊岡や淡路の先生は神戸まで来られるのが大変なことも実感しました。地域で異なる貴重なご意見ご要望を委員会の検討事項とさせていただきます。病院訪問は、現在までに10病院訪問しています。病院内を案内して下さるところもあり、私達は最新医療に触れることが出来ています。懇談会では研修医、勤務医の悩みや要望を聞き、同時に県医師会の資料を提供しています。

ニュースレター発刊は年2回、女性医師の会フォーラムと女性医師の会研修会の終了時に発刊しています。委員会活動を凝縮して掲載していますのでゆっくりお読みください。

県医師会ホームページの中に女性医師の会のページがあります。県の協力のもとに各市町の育児支援担当課を掲載しています。保育所、児童クラブ、一時預かり、病児保育の各部門をクリックすれば各市町の担当のホームページに入ります。

産休・育休に入られる女性医師に再就業支援、相談窓口、ベビーシッター費用一部負担などの情報掲載冊子を配布しています。この冊子は病院事務局に置いていただき、産休・育休に入られる先生にお渡し頂いています。産休・育休中は情報が不足し、孤立感をもつ先生もあると聞いていますので、この冊子が少しでも情報提供になれば幸いです。この冊子を発行するきっかけは、病院の研修医、勤務医の要望です。

日本医師会では2020年に指導的地位にいる女性医師の割合を30%にするとの目標を挙げておられます。各地区でもこの目標を浸透させていただきたいとのことから、兵庫県では「こうのとりの会」の名称で地区懇談会を年1回開催しています。

現在、育児中の女性医師が働きやすいように短時間正職員制度や保育関連も充実してきました。先生方には今後とも女性医師支援にご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

略 歴

昭和43年3月	神戸大学医学部卒業	平成20年4月 ～22年3月	兵庫県医師会広報委員長
昭和43年4月	神戸大学医学部眼科学教室入局	平成22年4月 ～26年6月	兵庫県医師会理事
昭和43年7月 ～45年1月	神鋼病院勤務	平成22年4月 ～26年8月	日本医師会女性医師支援委員会委員
昭和48年4月 ～53年6月	神戸大学医学部附属病院助手	平成26年6月～	兵庫県医師会男女共同参画推進委員会委員長
昭和53年7月 ～59年2月	加古川市民病院勤務	平成26年6月～	兵庫県女性医師の会会長
昭和59年3月	渡辺眼科医院開設 現在に至る		
平成2年4月 ～16年3月	加古川市加古郡医師会理事		
平成16年4月 ～22年3月	加古川市加古郡医師会副会長		

新春学術講演会

講演 I



まとの ぎき たかし
崎 尚

演題「神戸大学大学院医学研究科の現況と展望2017」



大学院志望者が多く、78名から100名に増員が認められた。



司会 木戸理事

伝統のシグナルに伝達研究等で多くの成果があがっている。



講演 II



ふじ さわ まさと
藤 澤 正 人

演題「神戸大学医学部附属病院の進む道」



質問する望月先生(32年卒)

大学病院が大変がんばっていることが解り安心しました。



司会 中野副会長

病床利用率等で全国国立大学病院で2位の実績をあげており、引き続き努力します。臨床研究推進センターの体制もだいぶ整ってきており、臨床研究中核病院の指定を目指してがんばっている。



情報交換会

会長挨拶

大変長時間にわたり、総会及び新春学術講演会にご参加いただき、有り難うございました。特にご講演いただきました的崎医学研究科長・医学部長、藤澤附属病院長、特別講演をしていただきました内田神戸大学理事・副学長に感謝致します。時間配分も途中では遅れ気味で心配致しましたが、それほどの遅延無く会に進めることができました。栄誉者でご出席いただいた方にできれば総会の場でご挨拶を御願いたいとの配慮もありました。この場にお残りの方には、ご挨拶いただきますが、会場がどうしてもざわつきますのでご理解を御願います。

二つだけ、簡単に紹介します。阪神・淡路大震災から22年目です。2名の学生と1名の研修医が犠牲となりました。関連の資料を入り口近くのショーケースに展示しています。最後ですが、6月総会で下奥・小島神緑会顧問を中心に篠山での予科の寮歌をご熱演いただきました。寮歌を楽譜化したもの、最後のポートピアホテルでの寮歌祭の資料を展示し、熱演いただいた動画をお聞き頂けるよう受付横でセットしています。ご食事の間にご覧下さい。それでは引き続き、懇親をお深め下さい。



前田会長



乾杯の発声 望月名誉教授



内田理事・副学長



的崎研究科長



藤澤病院長



奥町副会長



交換会風景



学生会員の挨拶



塚本（3年写真部）



岡（3年写真部）



河野（1年写真部）



松木（3年）



辻（1年）



学生会員、事務職員による受け付け



学生会員と大先輩の意見交換風景



寮歌の楽譜が正しいことの確認
(学生と下奥顧問)



蘇った「南寮寮歌」「健児賦」～採譜によせて～

病理学分野 助教 西尾 真理 (平成19年卒)



2016年10月29日に開催された第11回神戸大学ホームカミングデーの医学科懇親会で、兵庫県立医科大学予科の先輩方による「南寮寮歌」「健児賦」の歌唱が行われた。私は同日開催された第4回神緑会 Young Investigator Award の関係で偶然そこに居たが、大先輩の先生方が手ぬぐいを振りかざし雄々しく歌われる姿に感銘を受けた。

元々、病理学研究の傍ら、神戸の医学史や前身校の歴史に関して個人的に資料収集などもしていたため、またとない機会と思い、スマートフォンで動画を撮影した。動画を繰り返し再生するうちに、かろうじて旋律をたどることができた。音楽は小さい頃にピアノを2年、たまに合唱をたしなむ程度で理論もなにも分からないが、配布していただいた歌詞と、自分の音感を頼りに、どうにか採譜を試みた。

実は、採譜にあたり最も苦戦したのは拍子である。先生方が手ぬぐいを振りかざす動き1回分を一小節の長さとして仮定すると、「南寮寮歌」「健児賦」とともに四分の二拍子、もしくは八分の六拍子と推察できたが、どちらなのかは決め難かった。そこで文献を見直したところ、当時の寮歌の多くが四分の二拍子を採用していたことが分かった¹⁾。これを参考に採譜した結果、「南寮寮歌」「健児賦」はともに四分の二拍子で、作曲された当初は弾むようなテンポであったものが、先輩から後輩へと引き継がれるうちに強さを増し、堂々たる風情に

変化していったものと推察された。音階は日本らしい五音音階（ヨナ抜き短音階）を基調とするが、「健児賦」の「裸足に白はなお」の部分にのみ例外が存在する。調はそれぞれ異なっており、ハ短調の「南寮寮歌」からは篠山の寒風に負けない若人の力強さ、ト短調の「健児賦」からは月のような重みを湛えた清澄さを感じ取れる。リズムは「南寮寮歌」「健児賦」とともに付点8分音符+16分音符（今でいうスキップ）を基調としているが、これは当時七五調の詞に合うとしてよく用いられたピョンコ節である。三連符は「南寮寮歌」の2箇所、「健児賦」の1箇所のみみられ、ピョンコ節の中にあって和の雰囲気を感じさせる独特のうねりを形成している。

また、寮歌は長い間歌い継がれるうちに独特の節回しを形成する。例えば元々「タッタッタ」であったものが、徐々に「タータタータ」となり、さらには強拍が前に移動して「タタータータ」となるなどの変化があり、実際に先生方が歌われている映像においても部分的にそのようになっている。こうした

南寮寮歌

作詞 西口 睦 (昭和26年卒)
作曲 平田 (鳴尾女学校音楽先生)
採譜 西尾 真理 (神大医・平成19年卒)

場合、最も重要な部分に元のリズムが残っている可能性が高く、例えば「南寮寮歌」では「わが南寮に」の部分のリズムが元のリズムに近いと推察できる。こうしたことを加味して、何とか採譜を完成させた。なかなか良い感じに再現できたのではないかと考えている。

採譜にあたり、いくつか分からないこともあった。まず、先生方に歌っていただいたのは「南寮寮歌」の一番と二番、「健児賦」の一番だったため、残りの歌詞の譜割りは、実際に歌ってみて違和感が少ないよう手さぐりで行った。このため、不正確な部分もあるかもしれないがご容赦頂きたい。漢字の振り仮名は、配布された歌詞カードを踏襲する形で行わせて頂いた。掛け声のリズムも採譜したが、伸ばす長さは分からないのでフェルマータとした。

さらに分からないのが、これらの曲の作曲者である。以前の神緑会学術誌に、作詞者である西口睦先生の寮歌誕生にまつわる回想録²⁾があり、少なくとも「南寮寮歌」の作曲者は「鳴尾駅の近くでイチゴ畑の真ん中に建っていた女学校」の「平田先生」という新進気鋭の音楽の先生、とある。何か手がかりはないかと、イチゴ畑の中にあった武庫川高等女学校を前身校に持つ、武庫川女子大学広報室の伊達陽子様にお問い合わせしたところ、「平田先生」の候補のお一方として、神戸高校でも音楽の教鞭を執られて

いた平田勝先生（昭和19年 東京音楽学校（現・東京芸術大学音楽学部）ご卒業）とおっしゃる高名な作曲家・合唱指導者の先生のお名前を挙げていただいた。しかし、武庫川女子大学に着任されたのはかなり後になってからとのことであった。残念ながら、こちらの平田勝先生は一昨年にご逝去されたようで、現時点で作曲者たる「平田先生」の特定には至っていない。

寮歌に関して私に出来る調査はここまでと思うが、こうして書き残しておけば、後に誰かが興味深い発見をしてくれるかもしれない。そういった奇跡に期待して筆をおきたい。もちろん、本分である医学研究の成果もいずれ皆さまにご紹介できるよう、日々努力したい。最後になりましたが、私たちに素晴らしい歌詞を残してくださった西口睦先生、寮歌が後世に残っていくことを心から願い、私たちの前で貴重な歌をご披露くださった坂井昌武先生、小島正守先生、坂井京先生、是枝哲也先生、下奥仁先生、採譜された譜面を読んで下奥先生と一緒に確認してくれた学生の戸田逸郎君、突然の問い合わせにもかかわらず快く応じていただいた武庫川女子大学広報室の伊達陽子様、そして病理医としての先輩でもある前田盛会長と神緑会の皆さまに、心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

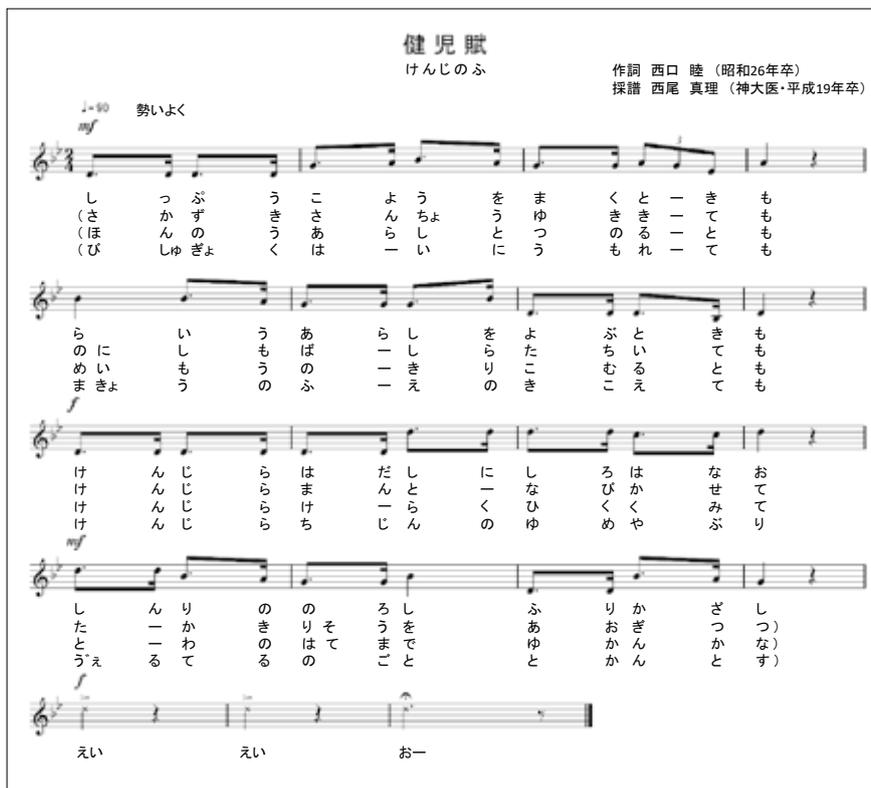
参考文献

- 1) 明治時代の第一高等学校寮歌にみる音楽文化活動. 下道郁子 東京音楽大学 研究紀要 31, 33-52, 2007.
- 2) 寮歌誕生. 西口睦 神戸大学医学部神緑会学術誌 10, 81-83, 1994.

健児賦
けんじのふ

作詞 西口 睦 (昭和26年卒)
採譜 西尾 真理 (神大医・平成19年卒)

♩=90 勢いよく
mf



えい えい おー

京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA)便り

基金事務局 徳永愛子

神緑会の皆様、平素は iPS 細胞研究所 (CiRA) へ継続的なご支援を賜り、誠にありがとうございます。2007年にヒト iPS 細胞の作製成功が報告されてから、今年で10年を迎えます。iPS 細胞を用いた医療応用に大きな期待が寄せられる中、iPS 細胞を使ったパーキンソン病、加齢黄斑変性の研究においてあらたな展開が報告されました。今号では、「iPS 細胞を使ったパーキンソン病治療の勉強会」、「他家 iPS 細胞由来の加齢黄斑変性の臨床研究」についてご紹介したいと思います。

iPS 細胞を使ったパーキンソン病治療の勉強会を開催



高橋 淳教授

CiRA 臨床応用研究部門の高橋淳教授らのグループは、AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）の再生医療実現拠点ネットワークプログラムの支援を受けて、パーキンソン病に対する iPS 細胞由来神経細胞移植による機能再生治療法の開発を目指した研究を進めています。パーキンソン病プロジェクトの今後の研究方針についてメディアを対象にした勉強会を2017年2月3日に開催しました。

多数のメディアが参加した勉強会にて、高橋教授は「当初は患者さん自身の細胞から iPS 細胞由来神経細胞を作製し、移植をする計画（自家移植）として開始し、研究を進めていました。2014年に医薬品医療機器等法（改正薬事法）が施行し、再生医療等製品に関する規制環境が変わったこと、2015年夏に CiRA から再生医療用 iPS 細胞ストックの提供が開始されたことなどを踏まえ、実用化に向けて最適な開発計画を検討してきました。自家移植よりも iPS 細胞ストックを用いた他家移植の方がコストを大きく抑えられる可能性が高いと考えられることから、実用化を早めることが期待できる、iPS 細胞ストックを用いた他家移植の治験へと計画を変更することになりました」と説明しました。

本プロジェクトの治験開始時期につきましては

2018年度を目指しておりますが、現時点では開始時期や対象となる患者さんの条件など詳細は未定です。引き続き安全性に配慮し慎重に開発を進めます。

今後の流れ

非臨床試験の実施および PMDA（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）への薬事戦略相談

↓

治験審査委員会への申請および承認

↓

PMDA を通じて厚生労働大臣へ治験計画書の提出

↓

治験の被験者となる患者さん募集（募集開始）

↓

細胞移植の実施

※各段階の時期については未確定

滲出型加齢黄斑変性に対する他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞懸濁液移植に関する臨床研究

神戸市立医療センター中央市民病院、国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科ならびに CiRA は、国立研究開発法人理化学研究所と連携し、「滲出型加齢黄斑変性に対する他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞懸濁液移植に関する臨床研究」の計画に参加しています。厚生労働省にこの臨床研究計画について、本年2月2日付で承認され、この度、研究を開始することになりました。2013年より実施し

た先の臨床研究では、患者由来（自家）iPS細胞から網膜色素上皮（RPE）シートを作製し、移植を行いました。今回の臨床研究では、CiRAが提供する末梢血由来のiPS細胞ストック（他家）を用いた細胞懸濁液の移植を実施します。実施予定件数は、5例程度です。

なお、被験者募集について患者さんからお問い合わせがございましたら、神戸市立医療センター中央市民病院ホームページ（<http://chuo.kcho.jp/>）に被験者募集のページがございますので、そちらで詳細をご確認ください。

Yahoo! ネット募金からも寄付が可能に！

2月19日に開催された京都マラソン2017に今年も山中伸弥教授が挑戦しました。

マラソンは終わりましたが、まだまだiPS細胞研究基金への寄付は募っております。

今年は新たにTポイント1円分の寄付や、毎月100円からの継続寄付ができる「Yahoo! ネット募金」

でも寄付を受け付けておりますので、よろしければ、ぜひ下記ページをご覧ください。



山中所長がベストタイム（3時間44分）で走りぬけました。

■ iPS細胞研究基金 寄付募集ページ

・ Yahoo! ネット募金

<https://donation.yahoo.co.jp/detail/5113001/>

【iPS細胞研究基金についてのお問い合わせ先】

【連絡先】

iPS細胞研究所 iPS細胞研究基金事務局

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53

TEL：075-366-7152 FAX：075-366-7185

メール：ips-kikin@cira.kyoto-u.ac.jp

資料請求専用フリーダイヤル：

0120-80-8748（平日9時～17時）
ハシレ ヤマナカ シンヤ

京都大学基金ウェブサイト

「京都大学基金」で検索してください。

URLは以下の通りです。

<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/>

iPS細胞の可能性－10年の節目に

iPS細胞を使った研究についてさまざまな報道がされており、多くの方々から大きく期待されています。iPS細胞研究所（CiRA＝サイラ）では、今どのような研究をしていて、iPS細胞にはどのような可能性があるのでしょうか？

2007年にヒトのiPS細胞の作製成功が報告されて以来、iPS細胞を用いた医療応用に大きな期待が生まれました。国はiPS細胞研究を推進するために支援を強化し、翌2008年には、京都大学にiPS細胞研究センター（CiRAの前身）が設置されました。

当初、京都大学内に点在するいくつかの研究室を集めた組織でしたが、2010年に研究棟が完成したの

を機に、iPS細胞研究センターからiPS細胞研究所（CiRA）へと改組されました。この時、研究所長に就任した山中伸弥教授は、10年間で達成する4つの目標を掲げました。

1つ目は、iPS細胞の基盤となる技術の確立です。人間の細胞でiPS細胞を作ることができるようになりましたが、「なぜ4つの遺伝子を体細胞に導入す

ると iPS 細胞ができるのか？」という謎は残されたままでした。iPS 細胞ができるメカニズムを解明し、深く理解することで、よりよい iPS 細胞を作る技術を確立する必要がありました。

2つ目は、再生医療に利用可能な iPS 細胞の作製です。当初の iPS 細胞の作り方はがん化の危険性が高いと指摘されていました。よりがん化しにくい安全な方法で、患者さんに移植できる細胞のもととなる iPS 細胞を作製し、予めストックしておく必要がありました。

3つ目は、比較的研究が進んでいる疾患について臨床試験を実施することです。パーキンソン病や糖尿病、血液疾患などについては、iPS 細胞から目的の細胞を作り、患者さんに移植をすることにより症状を改善することが期待されます。こうした細胞移植に必要な技術を確立し、実際に患者さんに移植をする段階まで到達することが目標のひとつでした。

4つ目は、患者さん由来の iPS 細胞を使った治療薬の開発です。患者さんの細胞から iPS 細胞を作製し患部の細胞を作り出すと、その病気の性質を培養皿で再現できることがあります。このような細胞を使って、体外で薬の候補となる化合物を探し出し、薬の開発をより加速することを目指しました。

2016年までに、上述の4つの目標はほぼ達成されました。iPS 細胞の作製方法の改良が進み、現在ではがん化の危険性はかなり低くなりました。また、再生医療用の iPS 細胞ストックも順調に準備ができ、2015年から iPS 細胞を医療機関や企業に提供し始めています。再生医療については、パーキンソン病や血液疾患の治療を目指した研究が進んでおり、近い将来、患者さんに移植を行う研究が行われるところまで来ています。創薬研究も、軟骨無形成症などいくつかの難病で薬の候補となる物質を見つけるに至っています。

ただし、ここで紹介した最も進んでいる研究でも、多くの患者さんが治療を受けられるようになるまでには、解決すべき課題も多く、まだ時間がかかります。また、疾患によっては、他の研究機関により iPS 細胞以外の方法を用いた治療法が開発が進んでいるものもあります。患者さんが最適な治療法を選択できるように、現在、CiRA で進められている研究について、今後できるだけ正確な情報をお伝えしていきたいと思っております。



2010年5月に開催された iPS 細胞研究所の竣工式。
左から4番目が山中所長。

iPS 細胞に関する歴史の流れ

1893年	体の設計図を持つのは生殖細胞のみ（ワイズマン）
1962年	クローンカエルの誕生（ガードン）
1970年	胚性腫瘍細胞の発表（スティーブンス）
1981年	マウス ES 細胞発表（エバンスら）
1986年	細胞の運命を筋細胞へと変える因子の発見（ワイントローブ）
1988年	多能性を維持できる培養条件の確立（スミス）
1997年	クローン羊ドリー発表（ウィルマット）
1998年	ヒト ES 細胞発表（トムソン）
2001年	体細胞と ES 細胞の融合により細胞の初期化（多田）
2003年	ヒトゲノム解読の完了
2006年	マウス iPS 細胞発表（山中）
2007年	ヒト iPS 細胞発表（山中、トムソン） 鎌状赤血球貧血マウスでの iPS 細胞を用いた治療（イエニッシュ）
2008年	病気の方から iPS 細胞を作製（デイリー／エガン）
2010年	iPS 細胞研究所（CiRA）開所
2010年	生体外でマウス線維芽細胞を神経細胞へ（ワーニグ）
2012年	ノーベル生理学・医学賞受賞（ガードン、山中）
2013年	上廣倫理研究部門開設（CiRA） iPS 細胞ストックプロジェクト始動（CiRA）
2014年	iPS 細胞を利用した世界初の手術実施（理研など）
2015年	iPS 細胞ストック初出荷（CiRA）

※「iPS 細胞の可能性－10年の節目に」は、京都大学 iPS 細胞研究所発行の「CiRA Newsletter vol.28」から許可を得て転載

神戸大学附属病院リハビリテーション科教室のご紹介

酒井良忠(平成8年卒)

神戸大学附属病院リハビリテーション科は神戸大学大学院医学研究科リハビリテーション機能回復学分野を基盤に2013年に設立されました。リハビリテーション機能回復学分野は兵庫県神崎郡神河町のご協力により寄附講座として設立され、現在5年を迎えており、さらに5年の延長が認められました。



神戸大学附属病院リハビリテーション科のメンバー

現在は神戸大学附属病院のリハビリテーション医療を担い、各診療科と協同で様々な疾患のリハビリテーションを担当しております。神戸大学附属病院においては、やはり悪性疾患の患者数が多いため、がんリハビリテーションに特に力を入れております。当院では造血幹細胞移植前後のリハビリテーションではパイオニアであり、現在まで多数のエビデンスを構築させていただいております。また食道がん手術前後のリハビリテーションも積極的に取り組んでおり、手術合併症の低減を目指しております。この取組はNHKのクローズアップ現代にも取り上げられました。頭頸部癌の頸部郭清術後の機能障害に対するリハビリテーションもほぼ全例施行できており、各診療科の得意分野に対して、適切ながんリハビリテーションが出来るようになっております。またがんサバイバーの増加に伴って、非常に患者数が増加している骨転移のリハビリテーションにおいても積極的に取り組んでおり、整形外科、放射線腫瘍科、血管内治療科、腫瘍血液内科、緩和支援治療科と

もに骨転移に特化したキャンサーボードを運営しております。この取組みにより骨転移による病的骨折や脊髄麻痺を予防し、早期に適切な集学的治療が行えるようになってまいりました。この取組を学会等で報告し、集学的なチーム医療の重要性を発信してきており、全国の各施設からの見学者も来られております。



骨転移キャンサーボードの様子

また、我々は、リハビリテーション科は各診療科の治療成績を向上させ、患者のADL、QOLを向上させるためにあると考えております。たとえば、多数の難手術を行う心臓血管外科や肺高血圧症など治療困難な疾患を扱う循環器内科に対応するため、心臓リハビリテーション室を稼働させ、心臓リハビリテーションに対しても積極的に取り組むべく、対応を進めてきております。また整形外科においては、FIFAの認定施設でもあり、多数のハイレベルなスポーツ選手の外傷、障害に対して治療を行っており、これに対応するため、アスレチックリハビリテーション室を稼働させて、充実したプログラムを提供できるよう体制を整えております。

また、公立神崎総合病院への診療支援も行っており、火曜日の午後のリハビリテーション外来を行っております。地域リハビリテーション、維持期リハビリテーションは超高齢社会に非常に重要であり、

とくに脳卒中後の維持期リハビリテーションに力を入れております。ボツリヌス毒素治療は中播磨地区唯一の認定施設であり、HANDS療法や促通反復療法など新しい脳卒中のリハビリテーションも取り入れております。



第2回炭酸ガス治療研究会の様子

研究においては、前述した各疾患のリハビリテーションにおける臨床成績を報告し、数少ないリハビリテーション医学のエビデンスの確立を目指しております。それに加え、基礎的な研究として、物理療法の一つである炭酸ガス経皮吸収の臨床応用について、そのエビデンスを確立すべく、研究を進めております。この治療法は、経皮的に二酸化炭素を吸収させる新たな手法で、ミトコンドリアの増加、血流増加、血管新生の効果が判明しております。現在では、筋へのトレーニング効果や修復効果に着目して、筋損傷や廃用モデルに対する研究を行うとともに、ポストポリオ症候群について臨床研究を行っております。また整形外科と共同で、下人工膝関節置換術後のリハビリテーション効果の促進についても検討しております。他にも悪性腫瘍にも効果があることが判明しており、各診療科と共同で研究を進めております。現在当科が事務局となり、炭酸ガス治療研究会を年1回開催しております。神戸大学の各診療科と協力して、新しい治療法の効果を検証しております。ご興味のある先生方はぜひご連絡いただければ幸いです。

また、現在不足しているリハビリテーション科専門医の養成にも取り組んでおります。超高齢社会の到来に伴い、回復期リハビリテーション病棟の増床が行われており、リハビリテーション医療の充実が

必要とされております。このためにはリハビリテーション医学に精通する医師が必要であり、各種報道でも、リハビリテーション科専門医の不足が指摘されております。当科では、有数のリハビリテーション専門病院である、兵庫県立リハビリテーションセンター中央病院、西播磨病院のほか、神戸大学病院の関連施設である、仁寿会石川病院、康雄会西記念ポートアイランドリハビリテーション病院、明倫会本山リハビリテーション病院といった回復期リハビリテーションを積極的に行っている施設にご協力いただき、後期専攻医の教育を行っております。新専門医制度の発足により、神戸大学リハビリテーション科を基幹施設として、各研修施設が有機的に結びついた研修システムを確立する必要があります。今までリハビリテーション科専門医の教育体制がなかったものを一から確立するため、各施設の指導医の先生方に多大なご協力をいただいております。心から感謝いたしております。各研修施設の横のつながりも重要であると考えており、今後さらなる協力体制、教育指導体制を整備していきたいと考えております。

現在3名の後期専攻医が在籍しており、来年度も1名の入局者が予定されております。神緑会会員の先生方に置かれましては、ご指導いただける機会がございましたら、温かいご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、初期研修医での希望者や専門医取得を希望される先生方がおられましたら、神戸大学にもリハビリテーション科があることをご教示いただければ幸いです。

神戸大学リハビリテーション科はまだまだ小さな医局でございます。ぜひ、会員の先生方のご指導とお力添えをいただき、我々も、先生方へリハビリテーション医療でご恩をお返しできるよう精進いたしていく所存です。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

連絡先

神戸大学大学院医学研究科外科系講座リハビリテーション機能回復学
 神戸大学附属病院リハビリテーション科
 神戸市中央区楠町7-5-2
 電話：078-382-6926 ファックス：078-382-6827
 メールアドレス：kobayasi@med.kobe-u.ac.jp
 (秘書：小林)

姫路工大、医科進学課程の回想

編集部 梶田明義(昭和34年卒)

神戸医科大学の医学進学課程が、兵庫県立姫路工業大学(姫路市伊伝居600番地)に昭和30年(1955年)に定員30名で併設され、同時に兵庫県立農科大学にも定員40名で進学課程が設置された。

それらは、神戸大学医学部に移管される昭和39年(1964年)迄、10年間併設され、計約700名の修了生が巣立った。

図1. 伊伝居の学舎



学舎の正門である。学舎は2階建ての木造で、高い天井が印象的で、神戸からの通学した小生にとって、木造の校舎は驚きであった。

昭和30年頃(1955年)の学科目表を掲げる(表1)。人文・社会科学系の教授の中には、当時姫路高校教授(後の神戸大学教養学部)が、非常勤講師として在籍され、講義を担当された。

一方自然科学系や語学の教官はすべて専任で、表には掲載されていないが、1959年頃に、岸田教授(地学)

が東北大学から赴任し、小生のクラスを担当された。

英語、独語や自然科学系は、医学進学課程のみの小人数授業が行われ、さぼることは困難であった。一方人文・社会科学系の授業は、電気工学、機械工学、化学の学生と同時に受講し、多人数であったので、たまにずる休みの記憶がある。

2年間の進学課程の後には、神戸医大本科への入学試験があり、それには英語、独語、物理、化学、生物、数学等の課目、及び正路学長の口答試験が行われた。全員が合格するとは限らない厳しいものであった。

姫路工大、医科進学課程の学生は、神戸市、大阪市や姫路近辺から通学するものが主体で、一方篠山市に設置された農科大学の学生は下宿する学生が多数であった。その結果前者は通学を通して、後者は下宿による濃厚な交友関係が形成されたように思われる。

図2. キャンパスの全景



キャンパスは姫路市の町外れにあり、周辺には田畑が広がっていた。

表1. 姫路工業大学、神戸医科大学医学進学課程併設時の教官(昭和30年度頃)学長 大森貫一、学生部長 畑 逸治

	授業科目	職名	氏名	備考
人文科学教室	文 学	教 授	川 田 俊 一	
	独 乙 語	〃	長谷川 寅 雄	
	英 語	助 教 授	山 崎 進	
	倫 理 学	教 授	小 村 雷 教	
	独 乙 語 学	講 師	西 沢 静 雄	姫路高校教授
社会科学教室	心 理 学	〃	中 村 秀 秀	姫路高校教授
	歴 史 学	教 授	本 崎 滝 巳	
	経 済 学	講 師	岡 本 静 雄	姫路高校教授
自然科学教室	法 学	〃	大 谷 英 一	関西学院大教授
	化 学・応用化学	教 授	田 中 泰 夫	
	数 学	〃	畑 逸 治	
	〃	〃	平 尾 廉 造	
	〃	助 教 授	糟 谷 正 一	
	生 物 学	教 授	香 川 憲 一	
体育教室	物 理 学	教 授	伊 東 祐 治	
	〃	助 教 授	堀 龍 夫	
	体 育 理 論 実 技	講 師	桑 田 一 恵	
	体 育 実 技	助 手	吉 川 保	

本文は“姫路工業大学のあゆみ”、兵庫県立大学・副学長、太田勲氏、2014.を参考にさせて頂いた。

今となっては神戸大学医学部への医学進学過程に 第1期生として入学した当時の思い出

日本血管内治療学会理事長 前神戸大学医学部第二外科教授
岡田昌義（昭和36年卒）

われわれの入学式が行われたのは、1955年の4月であった。これは兵庫県立姫路工業大学に30名（うち女性2名）、兵庫県立農科大学に40名（うち女性2名）の定員とその他の補充の人、15名に入学の許可がえられたのである。私は、兵庫県立姫路工業大学の神戸医科大学の医学進学過程に入学したのであるが、われわれは定員30名であったが、卒業時には29名であり、兵庫県立農大の40名と合わせて卒業したのは84名であった。このようにして1955年4月に6年間一貫した医学部の教育が始まり、途中に入学試験のようなものがなくなったのである。学業については、1年目から2年目にかけて、英語、独語、心理学、動物学、植物学、無機化学、有機化学などを幅広く基礎的な学問の学習をしたほか、多くの実験があった。この姫路では、約半数のものが下宿をしており、残りは兵庫県内、大阪近傍から通学していたのである。私は、大阪から通っていましたが、今でいうJRはなく、国鉄の兵庫駅まで出て、その後山陽電車で姫路まで通っていたのである。当時は、まだ国鉄では1970年10月1日に京都―西明石間

しか通っておらず、その後ようやくJRは、1980年1月22日になって、初めて草津―姫路間が新快速で通ったのであり、まだ国鉄は未だ姫路まで通じていなかったのである。また、当時は兵庫県の人が入学に際して優先的に有利であったと聞かされていたのであるが、これは当時学長をしておられた医学部の正路輪之助教授から後でお聞きしたのですが、やはり入学試験に合格した者が有利であったのである。

兵庫県立姫路工業大学には、医学進学過程用に教室が一つあり、その他は実験などで別の部屋に出向いていたのである。平常時には、朝8時30分から夕方は平均5時30分までであったが、実験などで時間のかかるものがあった。また昼食などは、大学内の食堂で取っていたが、カレーやハヤシライスなど数種類のメニューはあったが、中でも日替わりメニューが味噌汁や野菜などを加味した肉、魚などのメニューであり、多くの日はこれを注文したのである。日替わりメニューでの味噌汁の味は、格別のものであり非常に美味しかった。当時は顔を出すだけで、チェックしてもらい月末に支払うというシステムになっていた。とくに、日替わりのコースは、大変気の利いたものも見られたのである。当時は、すべての食品は大変美味しく頂いたのである。遠距離通学をしている学生は、毎日その通学で時間的に精一杯であったのですが、そうでない下宿をしている



大雪山の入り口にて



大雪山の頂上にて残雪を水筒に入れているところ
（左より、山下、岡田）

人は、夜食をどうするかで、かなり悩んでいたように思う次第である。自炊する人やあるいはたまに外食をする人もあったが、友人同士で食べ歩きをしている人もいたのである。人は誰も、1日に3度の食事を取ることが大切ですが…。これらがある程度決まっている人には、何の苦労もないのである。さらに、年に2回のコンパが開催されたのであるが、これは姫路市内のいろんな料理屋、居酒屋やカフェなどが充てられていたのである。日常はそれほど変わったものではなかったのであるが、服装は黒の詰襟の学生服を着ており、詰襟のところには医学部を示す「M」がつけられ、また頭には四角い角帽子をかぶっていたのである。今のように自由な服装ではなかったのである。このような生活の中でグループごとに仲の良いものが集まり、日常の生活を楽しくしていたのである。カフェや居酒屋など、また一部の人は麻雀などにも幅広く入っていたり、またスポーツなども行い、十分な余韻を楽しんでいたのである。さらに、各学期毎には、試験があったが、皆さんは通常の勉強ぶりであったと思われるのである。まさに、入試のような猛烈な勉強ぶりではなかったものと思われる。また、2年目の夏休みには、私を含め5人グループで北海道への2週間あまりの旅行に行ったのであるが、これは本当に楽しく初めて親元を離れて優雅な生活ぶりが発揮できたのである。伊丹空港から、札幌に着いてここ札幌をはじめ小樽、函館、大沼、登別、白老、苫小牧、富良野、帯広、旭川、阿寒湖、屈斜路湖、摩周湖、根室、網走などへと回ったのである。これが最初の北海道への旅行であったが、その後は気に入ったところへは、折に触れて訪れているのである。まさに、自然美にあふれた自然の力に触れ、大きな収穫を得たのである。

このようにして、2年間の学習は無事に終了して、



芸術学園の皆さんと（左より、八木、山下、園長、岡田、木曾）

1958年（昭和33年）4月からは、4階建てのタイル張りの大学病院とその南側にあった神戸市立第二高等女学校・商業学校の建物であった医学部の基礎校舎に通うようになったのである。この時は、兵庫県立姫路工大から来たもの29名と、兵庫県立農大から来た40名と、その他のものが一堂に集まったが、総勢84名であった。最初は、初対面であったが月日が経過するにつれて、次第に両者のものが和気あいあいとなり、お互いが和むようになり、すぐに仲間意識が出てきたのである。早速、臨床の科目が出てきて、少しずつ将来医師になるのだという意識が年々湧き出てくるようになった。当時の学長は、初代が正路輪之助教授（生理学専攻）であり、2代目は1956年4月から1961年3月までは遠藤中節教授（法医学専攻）であった。1964年（昭和39年）4月に国立に移管することが決定し、1965年（昭和40年）に産業医学講座がなくなり、新たに医動物学講座ができたのである。1968年4月に学生の定員は100名になったのである。現在、2012年（平成25年）4月には、定員が110名にさらに増加しているのである。今や、2012年に本学の1987年（昭和62年）卒業の山中伸弥君、現在京都大学のiPS研究所の教授が、めでたく栄えあるノーベル医学生理学賞を授与されたことは、われらのホープとして非常に誇るべきであり、今後もこのような栄誉を受けるべく、わが神戸大学医学部の面々は、学習と希望をもって精一杯最大限に尽くすべきであると思う次第である。



美帆路峠にて（左より、八木、山下、藤井、岡田）

予科時代の思い出

五神会 瀬 藤 晃 一 (昭和30年卒業)

私たちは昭和23年4月、まだ戦後間もない頃で、国内も未だまったく安定していない状況の中で兵庫県立医科大学予科に合格し、旧篠山連隊の兵舎を利用した学舎と学生寮があった篠山町に行きました。丁度戦後の混乱期でGHQの後押しで学制改革が実施されていて、6(小):5(中):3(高):4(大)の旧制度から6:3:3:4の現在の新制度に切り替えられるという混乱期に遭遇しました。当時は旧制中学の5年卒業で旧制高校(大学予科)の受験が可能だったのですが、4年修了でも旧制高校(大学予科)を受験することができ、私は中学4年修了で幸運にも兵庫県立医科大学予科に入学出来ました。当時の学長は生理学の正路先生、予科長は生物学の森先生でした。

私の中学の同級生は旧制高校(大学予科)に合格した3人を除いて、全員が新制高校に進学しましたが、当時は未だに旧制度と新制度の学校制度が併存していて、私は旧制度の学校制度のまま大学予科、大学と進級して、昭和30年に旧制大学最後の卒業生として大学を卒業しました。したがって旧の学校制度ですからクラスには女性は1人もおらず、大学予科は私たちが最後のクラスだったので毎年行われる進級試験に合格しないと、放校になるという厳しさでした。その間に学校名も兵庫県立医科大学から神戸医科大学に変わり、大学予科では進級できなかった者が大勢いたので大きく定員割れしたために、大学進学時に他大学の卒業生の選抜試験が行われて10余名の者が同級生として新たに仲間入りしました。

しかも、大学2年生に進級するときにさらに数人が振り落とされたために、私たちは卒業時には63名と少数人数の学年となっています。ただ、大学予科3年、大学本科4年と計7年も一緒に暮らしたために皆仲が良いのが特徴と考えています。しかし仕事上医師としての生活は厳しく、現在残っているのは僅か20名、それぞれが現在何らかの病を抱えています。

さて、予科時代を振り返ってみますと、先輩方が次々と本科に進まれた後に、私たち1学年(5回生)だけが予科生として篠山にとり残された形になりました。しかし、その1学年の者たちだけで文化祭、運動会、水泳大会などを開いたのが今となっては懐かしい思い出です。

又、誰が発起人というわけではなく、化学のI教授の不品行から排斥運動が起こりました。その時に神戸から正路学長が飛んでこられて、大きな顔を真っ赤にして「私が辞めるか、君たち全員が辞めるかどっちだ」と怒鳴られて一同シュンとなって、この運動も一瞬にして終わりました。ノンポリの私たちにとってはたった一度の学生運動だったのですが、あっけなく終了してしまいました、予科時代のなつかしい思い出の一駒です。

昭和23年から26年の篠山における3年間は食べるものにさえ事欠き、主食はジャガ芋やカボチャの時代でしたが、腹をすかした若者たちに食糧の調達に、恐らくかなり苦勞されたであろう舎監・数学の三浦教授にも深甚の謝意を捧げたいと思います。

大学在籍時代の思い出

吉 田 栄 之 (昭和32年卒)



学生時代

御存じのとおり解剖学名はラテン語で表記されていますので解剖の講義で最初3時限ほ

どラテン語それも名詞だけが有りました。講義は常光助教授?でしたかしら。武田教授の肉眼的解剖学の骨学の講義が始まりノートにうつす格闘が始まり乱筆のオンパレードです。入学後最初の試験迄に2、3週間かけて清書しましたが、それに精力を費

やし過ぎて肝心の試験は惨敗。以後どんなにノートが乱雑でも、そのまま赤鉛筆で重要な箇所にアンダーラインを引く位でした。しかしこれには2つ大きな欠陥があります。講義の何処が講師の力を入れている所なのか。過去の出題傾向が分からない事です。どの講義もポリリュームたっぷりです。生徒は重症の消化不良です。当時優れた教科書も無かったので最初の講義で紹介された参考書を古本屋であさる位です。生理学では医科生理学の教科書があったのでノートしなくてよいので息をつけた。そのぶん学長の雑談が面白かった。東大生は文献で調べて分かった気になり自分で追試しようとしな。学長自身に糖がでた時にすぐ治療せずに研究生に研究させた。癪に嬉しや男の力。

講義が終わった途端に行われた口頭試問はきつかった。ある程度基礎理解が出来てから遣ってほしかかった。却ってその方が不勉強がばれて窮地に追い込まれたかもしれない。

武田教授骨の試験のあとで成績優秀者の名前を読み上げたのは嫌味だ。

生化学の馬淵教授の授業中の口癖が「眼光紙背に徹せよ。」だった。口頭試問のまえにノートを読んだがいまいちだった。早く学校に着いて大学図書館で阪大教授市川さんの医化学の本を借り出して屋上で大切な部分を読んでから教授室に入った。一寸難しい問題だったがインスタント詰め込みのお陰で答えられて優をもらった。だが後の筆記試験は不勉強のため欠点だった。

姫路高校の先輩の家森教授の口頭試問では余り範囲が広すぎてしどろもどろにしか答えられなかった。本を読みなさいと言われて、助け舟を出してもらったが、勉強不足だなどぼつんと言われた。それでも単位は下さった。

講義、口頭試問、進級判定会が三大鬼門。それでも総体に基礎の教授はみんな優しかった。

ポリクリの思い出

- 耳鼻科のポリクリで私の耳から小豆大の耳垢をほじくり出されて恥ずかしくて真っ赤になった。その時の額帯鏡をつけて熱心に診察している若い耳鼻科の先生の横顔は素敵だと思った。
- 眼科外来で女性患者を診察しながらポリクリの学生達にこの人は隴を得て蜀を望むだと言ってこの格言の意味を尋ねられた。私が一つ望みが適うともっと大きな望みを持つ事ですと答えると大きくなずかれた。

- 小児科の児島講師のポリクリで麻疹の疑いの患児を直ぐに別の診察室に移して白血球を調べさせた。
- 外科の窪田助教授は第2度火傷の水疱を破らずに黒い痂皮ができ滲出液が自然に吸収されるのを待った。
- 外科佐藤助教授のポリクリ。妊娠中は気腹と同じ理屈で肺結核は小康を得るが出産後が危ないと言われた。
- 眼科で学生が小口氏病の疑いの患者を井街教授に報告すると今は眼底が汚いが暫く暗室にいと綺麗な眼底に戻ると言われた。
- 外科のポリクリ。腸閉塞のおばあさん入院させて胃腸洗浄をしたら口から半分便状のがでてきたのを主治医は平然とバケツに入れていた。これが吐糞症のいわれだなどわかった。
- 子供の診察順序。頭を触られるのを嫌がるから、頭はさいごにする。必ず Nackenstarr の有無を調べる。
- 外科藤田教授のポリクリで見た可哀そうな男の子。10歳位ですごく可愛く両親も溺愛していたようだが、すごい kyphosis だった。教授は治療法はないと言われた。先天性だったのか。
- 二内だったかな。ぽてっと肥った男の子で弱視 Adipose genital Syndrome で腫瘍の圧迫で視神経をやられているのか。
- Ausraumung をカーテンごしに見学させてもらった事がある。パンツを無造作に足だけで脱ぐしぐさがエロっぽかった。
- 眼底検査提出。期限までに誰かに頼んで眼底を見せて貰わなければならなかった。小原さんをお願いした。彼の眼底は綺麗だった。持参すると眼科医局員はさーと1分ほど彼の眼底を見てOKと言って引き出しに入れた。
- 八十助教授。レプラ患者の疑いを診て大騒ぎになった話。口の周りの深いしわでレプラを疑った。
- お産の映画。産婦人科の講義の一環で総合臨床講堂で上映された。解説は植田先生だった。ドイツ映画で破水が噴水の様に噴出したのが印象に残った。
- 血液型測定。生徒各個人の血液型を測定するのだが、その前準備にA型B型の学生それぞれ3人が呼び出され、採血された。つまり標準血清が作られた。それに学生の耳朶にメスで小さく傷をつけ軽く絞って微量の血を標準血清に混ぜて凝血の有無で判定した。
- 精子の観察。恐らく医局員の精液を生理食塩水で薄めたのを顕微鏡で見た。数、運動性、奇形を

見るわけです。

17. 外国人教授の公演。黒人の解剖学教授の禿の発生に関する研究だった。頭蓋は年令と共に大きくなりその分頭皮が伸びるのが禿の原因だと言う説。ゴリラの頭を人為的にのばすと毛が薄くなると写真で示した。それを通訳されたのが金子医英語助教授で軽くメモを取るだけで通訳されたのは驚異だった。

あとがき

他にCPC Clinical Pathological Conference. つまり生存時のカルテと死後の病理解剖所見との対決です。クラブ活動、碁、五目並べ、ソフトボールなどのささやかなレジャーが息抜きでした。

※県立神戸医学校の創生期は、都合により割愛させて頂きました。

メモリアル

内科学前教授 横山光宏先生を偲ぶ会

同門会会長 循環器内科教授 平田 健一（昭和61年卒）



神緑会会員で神戸大学名誉教授の横山光宏先生が、2016年11月10日、肺炎のため享年73歳で急逝されました。横山光宏先生のご訃報は、ご遺族のみならずご指導いただいた門下生をはじめ多くの人たちにとって大きな悲しみでした。謹んで哀悼の意を表させていただきます。

横山光宏先生は大阪府立池田高校から神戸大学医学部に進学され、1969年（昭和44年）にご卒業されました。当時、友松達彌教授が主宰されていた神戸大学医学部第一内科に入局し、循環器内科の道を志されました。大学院では故水谷哲郎先生（後の国立神戸病院院長）がリーダーをされていた心筋代謝グループで冠循環、急性心筋梗塞について研究され、大学院修了後は、1977年から米国セントルイスにあるワシントン大学循環器内科に留学し、Burton E. Sobel 教授のもとで Philip D. Henry 教授と共に動脈硬化血管の血管トーンスの調節に関する研究で独創的な成果を発表されました。当時、動脈硬化血管は、文字通り血管が固くなり、収縮・弛緩しなくなると考えられていましたが、横山先生は、動脈硬化血管

がエルゴノビンやセロトニンなどある種の血管作動物質に対して過剰収縮することを発見されました。帰国後も留学中の研究をさらに発展させ、冠動脈の動脈硬化を基盤とした収縮反応の亢進が冠攣縮の成因であるとして、「血管収縮反応亢進説」を提唱されました。そして、実際の冠攣縮性狭心症患者の死後摘出冠動脈標本がエルゴノビンやセロトニンに対して過剰収縮していることを証明され、冠動脈自体の収縮反応の亢進が冠攣縮の本体であることを示されました。その後、1990年に神戸大学医学部第一内科の教授に就任されると生化学、分子生物学的手法を積極的に取り入れ、血管内皮型一酸化窒素 (NO) 合成酵素の調節機構や血管壁での酸化ストレスの制御機構と動脈硬化症の関連について精力的に研究を行なわれました。また、横山先生は、動脈硬化学会が中心となって行われた JELIS (Japan EPA Lipid Intervention Study) の研究責任者として、日本人の高コレステロール血症患者を対象にスタチンに ω 3脂肪酸である EPA を追加投与することで心血管イベントが減少することを2007年に Lancet に発表されました。JELIS は日本で行なわれた大規模臨床試験の草分け的存在となっています。

学会活動の一方で、国立大学独立行政法人化の時期に、神戸大学医学部附属病院長をつとめられ、2007年に神戸大学を退職後も兵庫県立淡路病院、兵庫県立循環器病センターの院長として病院の発展に貢献されました。病院経営の厳しい時代においても研究マインドの重要性を指摘され、情熱に溢れた病院改革を実行され若い人材を育成されてこられました。

昨年11月に体調を崩され、神戸大学医学部附属病院に緊急入院され、治療によってご回復いただけると信じておりましたが、2016年11月10日、肺炎のため享年73歳で急逝されました。ご葬儀はご家族のみで執り行われましたが、横山先生に対する感謝の気持ちとお別れの機会を設けるためにも、教室員など

親しい関係者で「横山先生を偲ぶ会」を2017年2月11日に開かせていただきました。先生のご急逝に接し、感謝の気持ちと懐かしい思い出は尽きませんが、横山光宏先生に心よりの感謝と哀悼の意を表したいと思います。

メモリアル

池尻先生 告別式

—保険医協会理事長で聴覚障害者に尽くされた—

吉田 栄之 (昭和32年卒)

2006年1月5日 pm 1:00～

於：阪神平安殿

200人近くの参列者、うち50～60人は聴覚障害者同級生、山鳥教授、美崎、駒井、中井、吉田

無宗教式で壇上一杯、菊の花で飾りその間にしきみ飾りに短冊状の会葬者名が挟まれていた。その数も左右30対以上あった。

弔辞が次々と捧げられたが、故人は聴覚障害者にとって希望の光だったので、全ての弔辞が手話通訳された。つまり同時通訳である。保険医協会発足当時の仲間、合田会長の話。保険医の立場の擁護だけでなく、社会貢献の仕事、特に障害者の援護に貢献されたのは知らぬ事とは言え我が身の不明を恥じるばかりである。正に人は棺を覆いて評価される事を痛感した。次に尼崎市医師会長、180cm 近い巨漢だが声はあくまで優しくかった。そして3番目に同窓会長山鳥学部長が登場した。

「母さん僕の帽子はどこに行ったの。」は萩原朔太郎の有名な言葉だが、池尻さん、僕の解剖ノートは何処ですかと問いかけた。つまり解剖の試験が終わった時に破り捨てようとしたら彼が捨てる位なら僕に呉れと言われて彼に手渡した。山鳥氏が献体の会で苦勞されていたのは知っていたが私の所に入会してくれという勧誘状が来た時は私はどうも躊躇したが後にその野路菊会の運営費を同窓会でバックアップしようと言う事が分かり、喜んで賛助会員に参加した。山鳥氏は今迄も献体を頂くたびに、つまり満願成就の日の告別式に出席して、お礼の弔辞を読まれたそうだが、まさか同級生の献体を受けるとは思いもしなかっただろうし、その件になると声を詰まらせていた。まさか今迄の同級生の故人で献体した人はいないだろうし、池尻さんの他に献体申し

込みをした同級生もいないと思う。我々の年齢では臓器提供してもポンコツ部品だから役にたたないだろうし献血も65歳まででお役御免のはずで何のお役にも立たないが、今からでも遅くない。死後献体という道が残っている。恐らく今迄に受けられた献体も何回も大手術を受けられて学生の解剖実習に役立たない時は丁重にお断りしたことも何回かあったのでは無いでしょうか。手話入りで聴覚障害者支援会長の挨拶はご自身が手話で話されたのち弔辞を御霊前に捧げられた。池尻先生貴方は医師として本当に立派な一生を捧げられた事に対し心から尊敬の念を捧げます。

同級生の二人は前日のお通夜に出席された事を付けくわえさせていただきます。

お嬢様のお話では晩年先生は肺線維症に苦しめられ歩行もままならぬ様になり、酸素吸入器の助けを借りて何とか日常生活を保たれた。つまり QOL を確保された。それでも病苦をおして同窓会に出席されたり、死の直前までライフワークの障害者支援に尽力され、そのおかげで淡路島に聴覚障害者の老人施設の完成にこぎつけられた事は特筆すべき業績と言えましょう。最後に先生を苦しめたのは皮下気腫との事です。

2006年1月5日 朝日新聞朝刊

池尻重義さん(いけじり・しげよし=元県保険医協会理事長)2日、肺炎で死去、78才。

葬儀は5日午後1時から、尼崎市西長洲町3の7の7の阪神平安祭典会館で。喪主は妻美代子さん。自宅は尼崎市杭瀬北新町3の7の10。

2007年8月発行の学術誌第23巻195頁にも文章が寄せられています。

寄付の
ページ

記念事業での具体的ミッション
(75・150周年記念事業での募金の目標額5億円、平成31年4月まで)

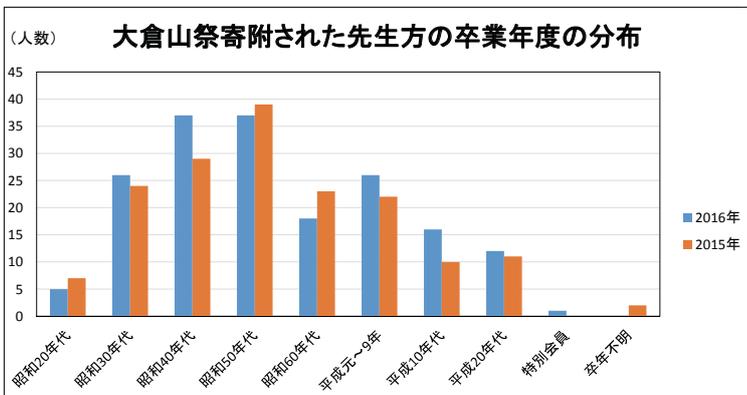
- 未来医療開発センターの設置 約4億円
- 付属図書館及び学生福利厚生施設の整備 約1億円
- 「世界レベルの研究者を志す人材育成のための奨学基金」(仮称) 約0.2億円
- 医学部75年史(仮称)の編纂 約0.2億円
なお、神緑会2億円

寄付者免税の改めてのご紹介

50周年記念事業では、神緑会あげての寄付集めであった。税務署に申告し、後援会を立ち上げて免税扱いとなった。寄付額は、一律10万円を譲らない頑固さでもあって神緑会館の建設にこぎ着けた。右表を参考に皆様のご協力を御願ひします。
還付所得税の目安 神戸市民は、地方税も免税されます。

800万円	22,540円
1,000万円	32,340円
1,500万円	32,340円
2,000万円	39,200円
2,500万円	39,200円

確定申告が必要です。



平成卒寄附者	54人	30.3%
昭和卒寄附者	123人	69.1%
2016年寄附金額合計		¥1,565,000

平成卒寄附者	43	25.7%
昭和卒寄附者	122	73.1%
卒年不明者	2	1.2%
2015年寄附金額合計		¥1,265,000

寄付額の増加及び平成卒業者の増加の兆しが見えた。

HYOGOKEN IRYOU CREDIT UNION (HICU)

ローンのご案内

兵医信は兵庫県医師会・兵庫県歯科医師会・兵庫県薬剤師会を設立母体とした、兵庫の医療・医療に関わる皆さまと共に歩む専門金融機関です。



住宅ローン

ご自宅の新築、購入、増改築、
自宅建築用地の購入、他行住宅ローンの
借り換えなどにご利用いただけます



ご融資金利	年1.000%(変動金利)
ご融資限度額	1億円
ご融資期間	35年以内(完済時満75歳以下)
担保	不動産

神戸医師協提携ローン

神戸医師協同組合が取扱う医療機器の
ご購入や診療所の改装資金などに
ご利用いただけます



ご融資金利	年1.050%(変動金利)
ご融資限度額	3,000万円
ご融資期間	7年以内(完済時満75歳以下)
担保	不要

◎その他の商品についても取扱いを行っておりますので、詳しくは各営業店の融資担当者までご相談ください。

※1 本商品は変動金利型の商品です。 ※2 金利情勢等により、内容の変更を行う場合がございます。 ※3 お借入に際しましては原則、社保または国保の振込指定が必要です。
※4 審査の結果によってはご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

◎組合への出資のお願い 出資1口の金額は1,000円となります。10口(1万円)以上のご出資を目的にお願いしております。

(平成29年3月1日現在)

◎詳しくは各営業店までお問い合わせください。

本店営業部	TEL 078-241-5201 〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-2-17
尼崎支店	TEL 06-6426-6288 〒661-0012 尼崎市南塚口町4-4-8 ハーティ21内

姫路支店	TEL 079-282-0177 〒670-0932 姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館内
西宮支店	TEL 0798-36-1010 〒662-0911 西宮市池田町13-2 西宮医療会館内

平成卒業生の同窓会開催状況と開催少ない学年同窓会開催の御願い

昨年度の学術誌発行に際し、クラス会便りのデータを元に一文を書いた。昭和30年代卒の多くの学年が、毎年のように同窓会を開催され、同40年代も多く開催されていた。この傾向を元に、4年前からニコニコ会を仮想し、卒業後2年目と5年目のニコをとってニコニコ会とし、卒後10数年までの学年を対象とした「ニコニコ通信」の発行と2と5年目卒業生同窓会の開催に少ないながら資金援助を行った。表のごとく、過去10年の学術誌に掲載されたクラス会便りは、平成卒者の投稿は極めて少なく、ニコニコ会学年では、神緑会もしくは学内教育担当者との連絡ミスの数年を除き、写真撮影と感想記事の掲載が順調に行なわれた。平成3卒が3回、平成10卒が3回、平成14卒が2回など、複数回開催であった。合計22回でそのうちニコニコ学年が6回で、平成25年から毎年開催されています。資金援助で無理矢理の開催かも知れませんが定着を期待します。

なお、平成卒学年だけでなく、昭和卒のクラス代表にも御願います。昭和51年卒者でも昨秋、ホームカミングデイに準じて卒後初めて40年ぶりの開催

が実現しました。M8/9学年となったのは、卒業遅れを包含した表記でした。過去顔を合わす度に「同様会は？」と聞いていた昭和48年卒は、ラグビー部3名のうち、二人が帰らぬ人となった。この機会に4年間以上開催の無い、総ての卒年に同窓会開催を御願います。開催のための名簿が不十分なら、神緑会事務局が協力します。それぞれの学年で開催後、名簿を充実し、2年毎の名簿発行（今年の9月末段階）に備えて下さい。

神緑会理事会

過去10年間に同窓会報告のある平成卒学年

		開催卒年			
2007年	平成19年				
2008年	平成20年				
2009年	平成21年	H3			
2010年	平成22年	H4			
2011年	平成23年	H1	H8		
2012年	平成24年	H10	H14		
2013年	平成25年	H2	H3	H9	(H20)
2014年	平成26年	H10	H14	(H24)	
2015年	平成27年	H2	H6	(H22)	(H26)
2016年	平成28年	H3	H8	H10	(H23) (H27)

○印はニコニコ学年

先生の良きパートナーでありたいー
私たちはそのために頑張ります。

ジェネリック医薬品

ワクチン・衛生材料

医療機器・調剤機器

カード事業 (JAPAN DOCTOR'S CARD)

生命保険・損害保険

医療経営コンサルティング

リネン・医療用寝具リース

医療用食品・食器・厨房機器

神戸医師協同組合

本部 神戸市中央区神若通3丁目2番15号
TEL 078(241)8995番 FAX 078(231)0910

ホームページアドレス <http://www.kobe-ishikyo.or.jp>

神戸事業所 TEL 078(241)8991番(代) FAX 078(242)8251
尼崎事業所 TEL 06(6438)2561番(代) FAX 06(6438)2339
明石事業所 TEL 078(936)3535番(代) FAX 078(936)3349
姫路事業所 TEL 079(239)5725番(代) FAX 079(239)2513
西神事業所 TEL 078(795)6612番(代) FAX 078(795)7084

医学科写真部活動報告

三回生 塚本 修一

こんにちは。医学科三回生の塚本 修一と申します。平成29年度は、私が写真部部長を務めますので、どうぞ宜しくお願い致します。この度、三回生塚本、同岡、一回生河野の三名で神緑会総会の写真撮影を担当致しました。その縁で、こうして写真部の活動報告を執筆させていただくことになり、大変光栄に思っております。

写真部は一回生から六回生まで多数の部員が所属する、大所帯であります。以下に述べる活動への参加は基本的に自由とし、「医学科一強制力が小さい部活動」が私の目標です。部室には1992年度の卒業アルバムが何故か置いてあり、当時から写真部は自由参加の風潮があったようです。これを一つの良き伝統として、今後も受け継いでいきたいと考えています。

写真部の活動は、写真展開催と、年に数回の旅行が基本です。写真展は、学生ホール展示と学外のギャラリーを貸し切った開催で、一年に計二回行うことにしています。旅行は写真展の爲の写真を撮る意味もありますが、部員の親睦を深めること、良い写真を撮る爲に感性を磨くことが主眼です。参加自由とは言いましたが、毎回多数の部員が写真展に出展し、旅行にも参加してくれています。

また、今回の様な神緑会での写真撮影や、医学科広報誌作成の爲の写真撮影といった、公式な活動も行っています。こちらは参加者ゼロでは困りますので、前もって参加者を確定し、責任を持って任務にあたっています。ご安心ください。

今年度の方針についても、少し触れておきます。写真展や部員旅行は従来通り行い、写真撮影の依頼を戴ければ、積極的に承ります。そして、新しく始めたいことがあ

ります。それは、神戸大学医学部医学科の様々な姿を、写真にして記録することです。一年だけで終わらせては意味がないですから、代々続く事業になればと思っています。

これまで写真部は、写真展で芸術写真を出展することを最重要の活動としてきました。しかし、同様の写真展は他大学でも、地元の人々でも開催できます。私たちにしかできないことは何か。それを考えたとき、私自身の経験からこの活動がひとりでに浮かんできました。私は、今では芸術写真にも挑戦しますが、専門は記録写真です。カメラが持つ、「時間を凍結する」という特異な能力に魅せられたのでしょう。芸術写真の分野でも、部員が積極的にコンクールなどへ応募出来る様、情報を提供していきたいと考えています。

全ての面で部員の個性を最大限輝かせる爲、自らの写真技術を磨く爲、私自身努力して参ります。そして勿論部員一同、皆さんに感動していただける写真を撮影できる様、日々精進しております。今後共神緑会の先生方、神戸大学医学部の先生方におかれましては、写真部へのご指導、ご後援など賜ります様、何卒よろしくお願い致します。



2014年夏写真部旅行の様子。一眼レフの使い手が多いが、全員ではない。そういう意味でも、非常に垣根が低い部活動。

初期体験臨床実習のアンケート結果

医学部医学科 1回生 高木 望 夢

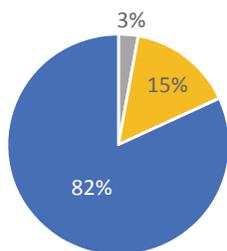


平成28年9月12日（月）～9月16日（金）に行われた、神戸大学医学部医学科、同保健学科および神戸薬科大学薬学部の三大学合同の初期臨床体験実習について報告させていただきます。参加者は医学科112名、保健学科159名、薬学部70名が参加し、49班に分かれ42病院で体験実習を行いました。

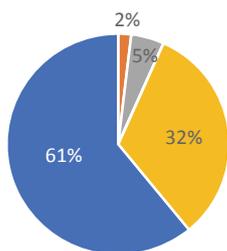
この合同での実習は平成20年度から始まりました。目的は、入学して半年ほどの時期に実際の医療現場に触れる事で今回のテーマである他職種協働や、生命・保健倫理などを体験的に学ぶ事です。実習期間中、学生は医学科2, 3名保健学科2, 3名、薬学部2名の7名程度の班に分かれます。そのため、実際に働くときをイメージし相互交流を図り、学びを共有し今後の学習に対する意欲向上、主体性向上が期待されています。

【アンケート項目と回答結果】

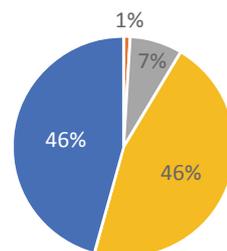
初期体験臨床実習は有意義だったと思うか



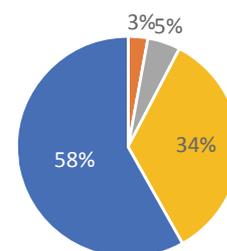
チーム医療の大切さが分かったか



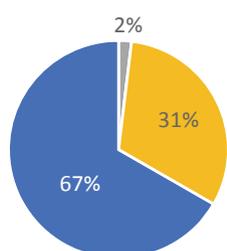
チーム内で他の専攻の人とうまく連携が取れたと思うか



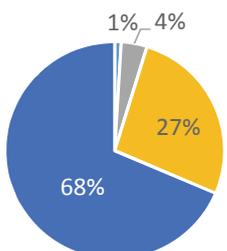
実習中に病院でチーム医療を感じる事ができたと思うか



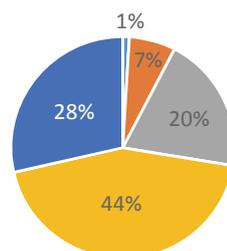
医師という仕事に実感が持てたと思うか



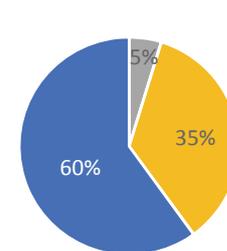
今回の実習が今後の勉強のモチベーションアップにつながると思うか



初日の講演によりチーム医療についての理解を深める事ができたと思うか



もっと病院実習の時間を増やして欲しいと思うか



	1. 全く思わない	2. あまりそう思わない	3. 普通	4. 大体そう思う	5. 大変そう思う	
初期体験臨床実習は有意義だったと思うか				3	16	86
チーム医療の大切さが分かったか		2		5	34	64
チーム内で他の専攻の人とうまく連携が取れたと思うか		1		8	48	48
実習中に病院でチーム医療を感じる事ができたと思うか		3		5	36	61
医師という仕事に実感が持てたと思うか				2	33	70
今回の実習が今後の勉強のモチベーションアップにつながると思うか	1			4	28	72
初日の講演によりチーム医療についての理解を深める事ができたと思うか	1	7		21	46	30
もっと病院実習の時間を増やして欲しいと思うか				5	37	63

今回の実習を終えて、医学科の参加者にアンケートを実施しました。2年前にも同様のアンケートを実施しましたが、そのときより項目を2つ増やしています。

体験実習の感想や要望など

1. 実習先の病院の良かった点や改善してほしい点

- ・こちらの質問に丁寧に回答して下さったことが良かった。(明石市立市民病院)
- ・マンツーマンで対応していただいたことが良かった。(神戸大学医学部附属病院)
- ・新しくできた病院に行くことができ、最新のシステムや医療機器を見学することができたのが良かった。(加古川中央病院)
- ・職員の方々がとても親切だったこと。大きな病院であり、施設が整っていたこと。(甲南病院)

2. チーム医療の理想とはどのようなものだと思うか

- ・お互いが尊重しあい意見を出し合える。(神戸労災病院)
- ・様々な職種が集まり、それぞれの良いところを發揮しあって一人の患者の治療に尽力すること。(兵庫中央病院)
- ・常に「チームである」ことを意識し、独りよがりにならず互いに助け合いながら患者さんの利益を追求すること。(兵庫県立こども病院)
- ・医師、看護師、他すべてが互いに連携しあい、互いの意見を尊重しながら一人一人の患者に向き合う。(明和病院)
- ・患者さんの治療に関わる医療従事者が各々責任を持ち仕事に取り組むことに加え、その間で密な連携を取り続けること。(甲南病院)

3. そのような理想のチーム医療を実現するために、あなたは医師としてどのようなことをするか

- ・医師だけでなく、様々な人とうまくコミュニケーションをとりながら、柔軟にこうどうする。(高砂市民病院)
- ・コミュニケーション能力を向上させ、人の話をよく聞くことができるようになる。
- ・様々な観点から意見を述べるができるように、また他の意見に理解が示せるように自己研鑽していく。(兵庫県立がんセンター)
- ・今後も引き続き医師以外の医療職についてそれぞれの役割を理解していく。(新須磨病院)

- ・自分がチームの一員であることを強く意識し患者さんのご家族やコメディカルの意見にも耳を傾けられるようになること。(明石医療センター)

4. 実習全体の感想

- ・自身が将来行うことのほんの一端であってもそれに触れることができたことで、勉強に対するモチベーションが高くなった。(神戸大学医学部附属病院)
- ・実際に病院へ行き、現場のことについて知ることができ、非常にいい経験となった。また、他学部の学生と交流することができ、様々な人と意見を交わすことができた。(製鉄記念広畑病院)
- ・普段見ることのできない内情を早いうちに見ることができた良い体験だった。(市立伊丹病院)
- ・専門的な授業もまだ受けていない中で、現場を体験できてよかった。(三菱神戸病院)
- ・将来の同業者と真剣に将来について考えることができて良かった。自分の理想像に近づけるようにもっと勉強を頑張ろうと思えた。(高槻病院)
- ・チームで働くことの大切さと将来自分が負う責任の大きさに気づくことができた。(神戸朝日病院)

参加病院名：

甲南病院／六甲アイランド甲南病院／兵庫県立こども病院／神戸赤十字病院／明和病院／高砂市民病院／兵庫県立がんセンター／加古川中央市民病院／神戸大学医学部附属病院／兵庫県立柏原病院／兵庫中央病院／淀川キリスト教病院／神戸朝日病院／愛仁会 明石医療センター／慈恵会 新須磨病院／神戸労災病院／製鉄記念広畑病院／兵庫県立姫路循環器病センター／愛仁会 高槻病院／兵庫県立加古川医療センター／三菱神戸病院／大手前病院／赤穂市民病院／三田市民病院／市立加西病院／神戸海星病院／神戸低侵襲がん医療センター／市立伊丹病院／北野病院／神戸市立医療センター西市民病院／神鋼記念病院／姫路赤十字病院／明石市立市民病院／住友病院／神戸百年記念病院／川崎病院／大阪回生病院／関西労災病院／神戸市立医療センター中央市民病院／大阪府済生会中津病院

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所について

－国立健康・栄養研究所の健都移転－

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
開発振興部長 永田 充生（平成4年 山口大学卒）

はじめに

現在、私が在籍しています国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（以下、医薬健栄研）は、大阪の彩都にある独立行政法人医薬基盤研究所と東京都新宿区にある独立行政法人国立健康・栄養研究所の二つの独立行政法人が平成27年4月1日に統合され、設立されました。

本稿では、政府のまち・ひと・しごと創生本部の下で進められている政府関係機関の地方への移転の一環として検討されている、現在新宿区にあります国立健康・栄養研究所の北大阪健康医療都市（通称：健都）への移転について、昨年8月11日開催の厚労省関係者講演会の際に発表させて頂いた内容を基に、その後の状況も加筆してご紹介させていただきます。

国立健康・栄養研究所について

まず、始めに国立健康・栄養研究所についての概略を紹介させていただきます。国立健康・栄養研究所は1920（大正9）年に「栄養研究所」として創立されて以来、97年の歴史を持ちます。歴史を遡りますと、1923（大正12）年の関東大震災の際には、職員総動員で罹災者の救護に当たり、また、大戦末期には食物消費状態の実態を調査し、栄養素等摂取量の集計を行いました。この時の技術は、GHQの指示で実施された国民栄養調査に大いに生かされ、食糧配給対策の基礎データを導き出し、終戦直後の深刻な食糧難を乗り越えることに貢献しました。

そして、1947（昭和22）年に新宿区戸山に「国立栄養研究所」として再出発して以来、長年にわたり逐次の栄養所要量（現在の食事摂取基準）策定や毎年の国民栄養調査（現在の国民健康・栄養調査）の実施にエビデンスを提供してきたほか、各般にわたる研究を行ってきました。

1989（平成元）年には「国立健康・栄養研究所」に改称され、2001（平成13）年には政府の中央省庁等改革にあわせて、「独立行政法人国立健康・栄養研究所」となり、ますます国民の皆様の健康やそれ

を支える厚生労働省の健康・栄養政策を充実させるための研究を進展させてきました。

その後、2015（平成27）年に医薬基盤研と統合され、現在に至るのは冒頭にご紹介したとおりです。

大阪健都移転について

京阪神エリアには、従前からライフサイエンス分野の企業、大学、研究機関が多く立地しており、併せて近年、PMDA 関西支部や AMED 創薬支援戦略部といった国関連の創薬関連機関が大阪駅前を設置されるなど、この分野において国内有数の集積を有しています。



移転候補地である北大阪健康医療都市（通称：健都）では、西日本で唯一の国立高度専門医療研究センターである国立循環器病研究センター（以下 国循）が平成31年度を目途に、吹田市・摂津市にまたがる吹田操車場跡地（JR 岸辺駅北側）に移転建替えることを契機に、「健康と医療」をコンセプトとして、様々な機能を集積させるまちづくりが進められています。この健都の一角に設置予定の健都イノベーションパーク（企業誘致ゾーン）に進出するライフサイエンス関係企業や、住宅、商業施設等と国循が有機的な連携を図り、あらゆるリソースを活かして研究開発を促進し、この地からイノベーションを創出することを目指しています。

さらなる発展を目指して

医薬健栄研では平成27年の統合を機に、両研究所の専門性が融合することで生まれる新たな研究分野の開拓に取り組んでいます。現在検討中の健都移転を機に、両研究所が地理的にも近接することで、法

人の効率的な運営や統合によるシナジー研究の一層の進展を図りたいと考えています。

平成30年度を目処とした移転の実現に向けて、現在、厚生労働省、医薬健栄研、大阪府が中心となり、必要に応じて地元市の参画も得て、移転時期、施設整備の考え方、府民の健康増進や健康関連産業の振興等に繋がる連携方策等についての協議を進めています。

大阪では、2025年に開催を予定している国際博覧会の誘致に乗り出しており、「健康・長寿」をテーマとして掲げています。大阪万博が開催されることとなれば、地元にある公的研究機関として、その成功に大きく貢献出来るよう今まで以上にしっかりとした実績を重ねていきたいと思っています。

以上、詳細につきましては、以下の URL をご覧ください。

<https://kento.osaka.jp/>

耳より情報

私傷病に対する現状と対応について ～休職規定①

私傷病休職制度とは、業務外の事由による疾病や負傷で仕事ができなくなった（または、不適当となった）場合、退職させるのではなく、一定の期間、療養の機会を与えて、復職を待つ制度です。この制度は、法令に別段規制があるわけではないため、制度を設けるかどうか、どのような要件・待遇とするかについて、基本的には使用者の裁量で検討することになります。

しかしながら、近年、メンタルヘルス疾患を理由にした私傷病休職が相当数を占めるようになってきました。うつ病などの精神疾患で何度も欠勤を繰り返す者に対する処遇をどうすべきか、対応に苦慮される事案が多くなっていることから、次の事項を検討し、私傷病休職の取扱いを明確に規定しておくことが必要です。

1、休職制度を適用する範囲について

休職制度を適用する者を明確にします。雇用形態が異なる契約社員やパート、嘱託社員等への適用を除外する場合は、はっきりと明示しておくべきです。なお、正社員としての適格性を判断している試用期間中の者は、除外しておくほうがよいと思います。

2、休職の開始日と期間について

開始日は、休職状態が始まった時とするのか、それとも一定の猶予期間（1ヵ月等）を設けた後、休職発令された日とするのかを規定します。開始日や期間は、法令上の規制はありませんので、勤続年数や病気の種類によって差を設けても問題はありません。ただし、休職期間中であっても社会保険料や退職金の積立等の事業所負担は続くことから、事業所の規模や体力を考慮した休職期間を設定する必要があります。また、疾病が再発することもあるため、休職期間を通算するかどうか、検討が必要です。通算する場合は、「休職となった者が復職後1年以内に同一、又は類似の傷病により会社を休んだ場合は、欠勤期間を経ることなく直ちにこれを休職とする。この場合、前の休職期間の残余期間を限度とする。」等の規定になります。

※次回も引き続き、私傷病による休職規定について掲載します。

上記の情報提供は、神緑会顧問の社会保険労務士百合岡事務所（T.078-577-6722）です。就業規則作成や労務相談に応じます。遠慮なくご連絡ください。 社会保険労務士百合岡事務所



PREMIST
プレミスト京都 御池通
kyoto oikedori

ダイワハウスの分譲マンション

御池通、彩前席。

※1

シンボルロード沿いに、彩りを纏ったレジデンス。



■外観完成予想図

※掲載の外観完成予想図は平成27年10月に撮影した写真に設計図書を基に書き起こした完成予想図をCG合成したもので、官公庁の指導・施工上の都合等により建物の形状・色調等、実際とは異なる場合があります。※写真は現地の10階付近より東側を撮影した眺望写真(平成27年10月撮影)です。※カーテン・調度品等は販売価格に含まれておりません。※1.御池通の並木の彩りに面していることを「彩前席」というコンセプトワードで表しています。



京都御苑(徒歩16分・約1,230m)平成24年9月撮影



二条城(徒歩7分・約550m)平成22年6月撮影



鴨川(徒歩18分・約1,440m)平成27年3月撮影



大丸京都店(徒歩16分・約1,280m)平成28年2月撮影

「プレミスト京都 御池通」コンセプトルーム案内会開催中

予約制

■プレミスト京都 御池通 物件概要 ●所在地(地番)／京都市中京区御池通西洞院東入橋之町738 ●用途地域／商業地域 ●交通／京都市営地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池」駅 徒歩5分 ●敷地面積／481.61㎡ ●構造・階数／鉄筋コンクリート造・地上11階、地下1階 ●総戸数／49戸(別途、管理事務室1戸、店舗1戸) ●建築確認番号／第ER115051862号(平成27年12月15日) ●駐車場／1台(サービス用兼来客用平面駐車場【福祉対応】) ●自転車置場／52台(平面5台【内3台店舗用】、スライドラック式40台、垂直昇降式7台) ●月額使用料:300円～700円 ●ドラックルーム／5区画月額使用料:2,300円・2,500円 ●ドラックルームNo.1～No.5についてはマンション竣工までに希望者に対し売主が指定する方法により決定いたします。 ●分譲後の権利形態／敷地は専有面積持分比率による所有権の共有、建物専有部分は区分所有、共用部分については、専有面積持分比率による所有権の共有 ●管理形態／入居後、区分所有者全員により管理組合を結成し、管理会社(大和ライフネクスト株式会社)との間で管理委託契約を締結していただきます。 ●建物竣工時期／平成29年6月上旬予定 ●入居時期／平成29年7月下旬予定 ●売主／大和ハウス工業株式会社本店マンション事業部 ●施工／青木あすなろ建設株式会社 ●管理会社／大和ライフネクスト株式会社 ●販売代理／住友不動産販売株式会社大阪府大阪市北区中之島3丁目2番18号住友中之島ビル TEL.06-6448-6725 宅地建物取引業者免許番号:国土交通大臣(12)第2077号(一社)不動産協会会員、(一社)不動産流通経営協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 ●先着順販売概要 ●販売戸数／29戸 ●販売価格(税込)／3,650万円(1戸)～8,290万円(1戸) ●最多販売価格帯(税込)／3,600万円台(3戸) ●住居専有面積／40.04㎡～82.64㎡ ●バルコニー面積／3.78㎡～5.44㎡ ●サービスバルコニー面積／1.08㎡～3.08㎡ ●管理費(月額)／10,400円～21,500円 ●ゴミ処理料(月額)／648円 ●修繕積立金(月額)／5,200円～10,700円 ●管理準備金(一括)／20,800円～43,000円 ●修繕積立基金(一括)／280,300円～578,500円 ●広告制作年月日／平成29年1月26日 ●取引条件有効期限／平成29年3月31日 ●先着順販売について【お申込みの際にお持ちいただく物】印鑑(認印可)、平成27年・28年分の所得が分かるもの(源泉徴収票等)、ご本人が確認できるもの(運転免許証等) ※先着順につき、ご希望の住戸が完約済みの場合がございます。予めご了承ください。 ●掲載の地図は概略図のため、省略している道路、施設等があります。 ●徒歩分数は80mを1分として算出(端数切り上げ)したものです。 ●お客さまの個人情報の利用目的について(大和ハウス工業株式会社) 弊社は、個人情報保護法を遵守し、弊社または弊社グループ企業が行う次の事業※に関するご案内・ご提案、契約の締結・履行、アフターサービスの実施、お客さまへの連絡・通信、新しい商品・サービスの開発、およびお客さまに有益と思われる情報の提供などのために、お客さまの個人情報を利用させていただきます。 ●住宅、リフォーム、集合住宅、マンション、商業店舗開発、建築、不動産分譲、不動産仲介、環境・エネルギー、損害保険代理店、ホテル、インテリアなどの各事業

地下鉄烏丸線・東西線
「烏丸御池」駅 徒歩 5分

地下鉄烏丸線「烏丸御池」駅より
JR京都線 「京都」駅へ直通 6分
「大阪」駅へ 34分※

※JR「京都」駅で乗り換え、新快速利用※所要時間は日中平常時のものであり、時間帯により異なります。乗換え待ち時間は含まれません。

※掲載の地図は概略図のため、省略している道路、施設等があります。 ※平成28年7月時点の情報です。

【事業主・売主】

大和ハウス工業株式会社 本店マンション事業部

〒530-8241 大阪市北区梅田三丁目3番5号 TEL.06-6342-1287 FAX.06-6342-1783
宅地建物取引業者免許番号:国土交通大臣(14)第245号
建設業許可番号:国土交通大臣許可(特-27-28)第5279号(一社)
大阪府宅地建物取引業協会会員(一社)不動産協会会員(公社)
近畿地区不動産公正取引協議会加盟
www.daiwahouse.co.jp

お問い合わせは「プレミスト京都 マンションギャラリー」

0120-373-599

営業時間／AM10:00～PM6:00(火・水曜日定休)
※火・水曜日が祝日の際は営業しております。

ダイワ 御池通

東京海上日動の

個人型確定拠出年金(401k)

3大メリット

- ◆**拠出時** 掛金の全額(限度額の範囲内)が所得控除となります。
 個人事業主なら年間最大816,000円、企業の役員・従業員は年間最大276,000円*、公務員・私立学校の教職員は年間最大144,000円、家事専従者は年間最大276,000円の所得控除が認められています。
 *企業年金等の加入状況によって拠出限度額が異なります。
- ◆**運用時** 一般の預貯金では利息に税金が掛かりますが、確定拠出年金では運用益が非課税です。
 ※年金資産は特別法人税の対象となりますが、現在課税停止中です。
- ◆**受給時** 受け取る時にも、公的年金等控除や退職所得控除などの税制優遇があります。

ご注意点

- 原則として60歳までの途中引き出し、脱退はできません。
 また、掛金の拠出は60歳になるまでです。
- 加入時年齢から60歳までの期間が短く、かつ毎月の掛金額が少額の場合等は、手数料等により受取金額が掛金額合計を下回る場合がありますので、ご注意ください。
- 満60歳時点で通算加入者等期間が10年に満たない場合は、受け取り可能な年齢が最大65歳まで繰り下がります。
- 加入してから受け取りが終了するまでの間、各種手数料がかかります。

各種手数料	加入者が負担する手数料
加入手数料	初回のみ2,777円(税込)
管理手数料	合計480円/月(税込) (初回に掛金が2ヵ月分引き落とされる場合は、管理手数料も2ヵ月分差し引かれます。)
給付に関する手数料	1回あたり432円(税込)

401kに関するお問い合わせ・ご相談は

な っ と く 4 0 1k

 **0120-719-401**

受付時間/平日 午前9時～午後8時 土日 午前9時～午後5時
 (祝日・振替休日・年末年始はお休みさせていただきます。)

<http://401k.tokiomarine-nichido.co.jp/>



東京海  ヨー

※この広告は、個人型確定拠出年金制度の説明および加入のおすすめを目的として作成されたものです。確定拠出年金制度へのご加入やご加入後の運用指図にあたっては、必ず運営管理機関が提供する資料等をよくお読みの上、慎重にご判断ください。

※この広告は2017年1月時点での制度・税制をもとに作成しています。

401k-EK04-16023(2016.12月)

大学院、医学部医学科入学者選抜における大きな変更

大学院

1月21日の的崎 尚研究科長・医学部長の神緑会新春学術講演で最も興味を引いたのが、入学定員の78名から100名への増員の認められたことです。平成13年の大学院大学への移行の課程で入学定員を何名にするかは大きなテーマでした。実際は、教員の人数で機械的に決められ、低く設定できる人数では無かったが、定員割れへの恐怖は常にありました。詳細は、次の機会に詳しく説明するが、最近の志願者の増加を反映し、大幅な増員が認められた。更に、29年度入試から10月入学は、外国人特別入試として、外国人を対象に若干名を募集する。4月入学は、一般入試、社会人入試として、100名の募集人員で10月21日に実施される。

医学部医学科

既に変更した内容で29年度入試は実施され、2月8日合格発表、14日入学手続きまで終了しました。募集総数は、117名で変更無いが、AO入試が20名から10名に変更された。理由は、いずれ、大学側の説明を求めたいが、現役学生を対象に校長の推薦（各校2名まで）による特に優秀な学生をAOで提示した各大学希望の学生を選抜する。神戸大では、数年後に本格的にAO入試として取り組むが、医学科では率先して目的とする学生を合格させてきた。10名減少の理由は、学生的には、「AOで合格した学生があほやったからです」になったようですが、大学の意見は、要約すると「可否判定に自信が持てない」からで、センター入試の変更が予定されるのに先んじて変更となったようです。推薦の10名、2年次編入学の5名（学士入学とも言う）、前期日程の77名が10名増の87名（研究医枠2名）で総合計117名です。



合格発表に見入る受験生



入学手続き後、学生自治会、生協と神緑会の説明を聞く合格者

編集後記

広報誌の見直しの第2弾がなんとか目的に沿った方向で発行できます。以前の52ページから32ページへの圧縮を考えたが、36ページとなってしまった。紙の質を守るとともに、読みやすいままにと動きだした第2弾として、大筋は守れたと考えます。

総会報告と歴史では姫路工大関連の内容と学生の活動の紹介のため、4ページオーバーとなりました。今後は、平成卒者への働きかけは失わず、神緑会の同窓会の重要な活動であることを泥くさくアピールしたい。

記念行事に関連した歴史発掘に取り組んでいる中で、神戸大学医学部医学科との距離が遠くなったと感じざるをえない。AO入試の定員の削減や研究科長・学部長、病院長の視点を見失っていたとも思われます。卒業してしまえば…でなく、「大学や卒業生・学生に寄り添う神緑会でありたい」と反省した編集とします。

編集委員会

神緑会ニューズレター 第8巻第4号

発行 一般社団法人神緑会
会長 前田 盛
〒650-0017
神戸市中央区楠町7丁目5-1
神戸大学医学部内
TEL (078)361-0616
FAX (078)361-0617
sinryoku@med.kobe-u.ac.jp

印刷 交友印刷株式会社
〒650-0047
神戸市中央区港島5丁目4-5
TEL (078)303-0088
FAX (078)303-1320
info@koyu-p.co.jp